令和７年11月14日
経済文教委員会提出資料

（案）

令　和　７　年　度

教育に関する事務の管理及び執行状況の点検・評価に関する報告書

（令和６年度対象）

令和７年１１月

帯広市教育委員会

目　　次

１　教育委員会の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（１）組織・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（２）主な職務権限・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　１
（３）令和６年度教育委員会の活動状況・・・・・・・・・・・・・・　２

２　点検及び評価の基本的な考え方・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
（１）趣旨・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
（２）対象・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
（３）方法・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
（４）学識経験者の知見の活用・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　５
（５）帯広市教育基本計画の施策体系・・・・・・・・・・・・・・・・　６

３　点検及び評価の結果・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　８
（１）基本目標 夢の実現に向けて自立し 互いに支え合う人づくり　・・・・　８
（２）基本目標 生涯にわたり学び 活躍できる人づくり　・・・・３６

４　教育に関する学識経験者の意見・・・・・・・・・・・・・・・・・５４

参考資料・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５６
資料１　令和６年度教育行政執行方針・・・・・・・・・・・・・・・５７
資料２　令和６年度予算決算・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５９
資料３　令和６年度における主な取り組み一覧・・・・・・・・・・・６１
資料４　成果指標の推移・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６９
資料５　課題及び今後の方向性に対する令和６年度の取り組み・・・７４

１　教育委員会の概要

（１）組織

教育委員会は、政治的中立性を維持しつつ、安定性・継続性を確保して教育行政を管理・執行するため、首長から独立した合議体の執行機関として設置されています。帯広市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長及び４人の教育委員で組織されています。

帯広市教育委員会（令和７年３月３１日現在）

○　教育長　　広　瀬　容　孝　（令和　４　年　　7月　　7日 就任）
○　委　員　　藤　澤　郁　美　（平成２７年　６　月２３日 就任）
○　委　員　　佐々木　しゅり　（平成２８年　６　月２３日 就任）
○　委　員　　栁　川　　久　　（令和　２　年 12 月２１日 就任）
○　委　員　　早　川　一　之　（令和　６　年　４　月　１　日 就任）

（２）主な職務権限

○教育行政の一般方針に関すること。
○委員会規則及び規程の制定及び改廃に関すること。
○不服申立及び訴訟に関すること。
○学校その他の教育機関の設置及び廃止に関すること。
○通学区域の設定及び変更に関すること。
○職員（道費負担職員を除く。）の任免、分限及び懲戒その他の人事に関すること。
○道費負担職員の校長及び教頭の任免並びに道費負担職員の分限及び懲戒の内申に関すること。
○社会教育委員の委嘱及び解職に関すること。
○教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価に関すること。
○教育予算その他議会の議決を経るべき事件の議案についての意見申出に関すること。
○教科用図書の採択に関すること。
○重点計画の策定及び変更に関すること。

（３）令和６年度教育委員会の活動状況

①　教育委員会会議の開催状況

期日	番号	案件
令和6年4月25日	議案第18号	帯広市立学校管理規則の一部改正について
	議案第19号	帯広市社会教育委員の解職について
	議案第20号	帯広市社会教育委員の委嘱について
	報告第7号	教育長職務代理者の指名について
	報告第8号	帯広市市民文芸誌編集委員の委嘱について
	報告第9号	帯広市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命について
	その他(1)	今後の事業予定について
	その他(2)	寄附受納について
令和6年5月30日	議案第21号	令和６年度帯広市一般会計補正予算について
	議案第22号	帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第３期）について
	報告第10号	帯広市教育支援委員会委員の委嘱について
	報告第11号	帯広市図書館協議会委員の任命について
	その他(1)	今後の事業予定について
	その他(2)	寄附受納について
令和6年6月27日	報告第12号	帯広市青少年問題協議会委員の委嘱について
	報告第13号	帯広市教科用図書選定委員会委員の委嘱について
	報告第14号	帯広市学校給食センター運営委員会委員の解任及び任命について
	報告第15号	帯広市教育研究所運営委員会委員の委嘱について
	報告第16号	帯広市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命について
	その他(1)	帯広市議会6月定例会の報告について
	その他(2)	今後の事業予定について
	その他(3)	寄附受納について
令和6年7月24日	議案第23号	職員の人事について
令和6年7月25日	報告第17号	帯広百年記念館運営審議会委員の解任及び任命について
	報告第18号	帯広市スポーツ推進審議会委員の解任及び任命について
	その他(1)	今後の事業予定について
令和6年8月7日	議案第24号	小学校用教科用図書の採択について
	議案第25号	中学校用教科用図書の採択について
	議案第26号	高等学校用教科用図書の採択について
	議案第27号	教職員の処分内申について
	報告第19号	帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画(後期計画)(骨子案)について
	報告第20号	川西小学校・川西中学校の施設整備の方向性について
	報告第21号	教科用図書の採択に係る情報の公表について
	報告第22号	第五期帯広市子どもの読書活動推進計画（骨子案）について
令和6年8月30日	議案第28号	令和６年度帯広市一般会計補正予算(第５号)について
	議案第29号	令和５年度帯広市一般会計歳入歳出決算認定について
	その他(1)	今後の事業予定について
	その他(2)	寄附受納について
令和6年9月25日	議案第30号	令和６年度帯広市文化賞及び文化奨励賞等の決定について
	議案第31号	令和６年度帯広市スポーツ賞及びスポーツ奨励賞の決定について
	その他(1)	令和６年度教育懇談会の開催について
	その他(2)	今後の事業予定について
	その他(3)	寄附受納について
令和6年10月8日	議案第32号	令和６年度帯広市一般会計補正予算(第６号)について
令和6年10月23日	議案第33号	令和７年度帯広市立高等学校の入学者募集について
	議案第34号	帯広市立高等学校学則の一部改正について
	議案第35号	令和６年度帯広市市民文芸賞及び市民文芸準賞の決定について
	その他(1)	帯広市議会第3回定例会の報告について
	その他(2)	今後の事業予定について
	その他(3)	寄附受納について
	その他(4)	令和６年度全国学力・学習状況調査の結果(速報)について
令和6年11月12日	議案第36号	令和６年度教育に関する事務の管理及び執行状況の点検及び評価について
	議案第37号	令和６年度帯広市一般会計補正予算(第７号)について
	議案第38号	公の施設の指定管理者の指定について
	報告第23号	川西小学校・川西中学校に関する今後の在り方の検討について
	報告第24号	令和６年度全国学力・学習状況調査の結果について
	報告第25号	第五期帯広市子どもの読書活動推進計画（原案）について
	その他(1)	今後の事業予定について
令和6年11月20日	議案第39号	職員の処分について
	議案第40号	職員の人事について

期日	番号	案件
令和6年12月26日	議案第41号	教職員の人事内申について
	議案第42号	令和６年度とかちジュニア文芸各賞の決定について
	議案第43号	帯広市学校開放事業の管理運営に関する規則の一部改正について
	報告第26号	教職員の処分について
	その他(1)	教育懇談会の概要報告について
	その他(2)	帯広市議会第4回定例会の報告について
	その他(3)	今後の事業予定について
	その他(4)	寄附受納について
令和7年1月23日	報告第1号	第五期帯広市子どもの読書活動推進計画(原案)に対するパブリックコメントの結果及び第五期帯広市子どもの読書活動推進計画(案)について
	報告第2号	帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画(後期計画)(原案)について
	その他(1)	今後の事業予定について
	その他(2)	寄附受納について
令和7年2月13日	議案第1号	令和６年度帯広市一般会計補正予算(第11号)について
	議案第2号	令和７年度帯広市一般会計予算について
	その他(1)	今後の事業予定について
令和7年2月25日	議案第3号	帯広市教育委員会教育長給与等条例等の一部改正について
	報告第3号	令和６年度帯広市教育研究実践表彰並びに帯広市学校文化活動奨励賞について
令和7年3月18日	議案第4号	帯広市教育委員会会計年度任用職員の任用等に関する規則の一部改正について
	議案第5号	令和７年度帯広市教育行政執行方針について
	議案第6号	教職員の人事内申について
	議案第7号	帯広市定住交流センター条例施行規則等の一部を改正する規則制定について
	議案第8号	帯広市図書館条例施行規則の一部改正について
	議案第9号	第五期帯広市子どもの読書活動推進計画について
	報告第4号	令和７年度帯広市学校教育指導の重点について
	報告第5号	令和６年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果について
	報告第6号	公立学校情報機器整備事業に係る各種計画について
	その他(1)	今後の事業予定について
	その他(2)	寄附受納について
令和7年3月21日	議案第10号	職員の人事について
	議案第11号	職員の人事について
	議案第12号	帯広市教育委員会事務局組織規則の一部改正について
令和7年3月30日	報告第7号	教職員の人事について

・教育委員会会議開催回数　１９回
　議決案件　３８件　うち非公開　２６件（うち所定の手続き後会議録を公開　２２件）
　報告案件　２７件　うち非公開　１４件（うち所定の手続き後会議録を公開　１２件）
　その他　２７件　うち非公開　１件（うち所定の手続き後会議録を公開　１件）

〔参考〕教育委員会会議の非公開について
　教育委員会会議は、公開が原則ですが、①個人の権利を侵害するおそれのあるもの、②職員の任免、賞罰、人事等、③議会の議案に係る意見申出、④訴訟、不服申立に係るもの、⑤教育行政の公正、円滑な運営に支障が生じるおそれがあるものについては、出席委員の３分の２以上の多数で、公開しないことができます。（帯広市教育委員会会議規則第16条）

②　課題研究協議会開催状況

回数	期日	テ　ー　マ
1	令和6年5月30日	中学校教科用図書の採択について 帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第３期）について
2	令和6年7月23日	教科用図書の答申内容について
3	令和6年7月25日	帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画(後期計画)(骨子案)について 第五期帯広市子どもの読書活動推進計画（骨子案）について
4	令和6年10月23日	第五期帯広市子どもの読書活動推進計画（原案）について

③　研修会参加状況

期日	場所	研修会等	出席者数
令和6年8月22日～ 令和6年8月23日	北見市	北海道都市教育委員会連絡協議会定期総会	3人
令和6年8月23日	豊頃町	十勝管内市町村教育委員会教育長移動研修会	1人
令和7年1月28日	Zoom	十勝管内市町村教育委員会委員研修会	4人

3回　延べ8人

④　行事等参加状況

期日	行事名	出席者数
令和6年4月8日	市内小中義務教育学校入学式	6人
令和6年4月9日	帯広南商業高等学校入学式	1人
令和6年５月9日～ 令和6年５月10日	全国都市教育長協議会定期総会並びに研究大会 長崎大会	1人
令和6年5月15日	北海道都市教育長会春季定期総会	1人
令和6年5月23日	十勝管内教育委員会連絡協議会定例総会	1人
令和6年6月1日	市内小中・義務教育学校　運動会・体育祭	5人
令和6年6月8日	市内小学校　運動会	7人
令和6年9月4日	帯広市教育研究会　教育講演会	5人
令和6年9月22日	帯広市功労者表彰式	5人
令和6年9月20日～ 令和6年11月29日	市内小中学校公開研究会等	48人
令和6年9月28日	児童会館60周年記念式典	4人
令和6年10月5日～ 令和6年11月22日	市内小中義務教育学校　学習発表会・文化祭	6人
令和6年10月14日	帯広市スポーツ賞・スポーツ奨励賞表彰式	5人
令和6年11月3日	帯広市文化賞・文化活動功労賞表彰式	5人
令和6年11月2日	教育懇談会（児童会館）	5人
令和6年11月10日	第八中学校開校50周年記念式典	1人
令和6年11月13日	北海道都市教育長会秋季定期総会	1人
令和6年11月17日	教育懇談会（とかちプラザ）	5人
令和6年12月7日	広野小学校開校50周年記念式典	1人
令和6年12月22日	帯広市民文芸賞表彰式	4人
令和7年1月12日	20歳のつどい	5人
令和7年1月25日	帯広市スポーツ協会功労賞授賞式	1人
令和7年2月15日	とかちジュニア文芸表彰式	1人
令和7年3月18日	学校文化活動奨励賞授賞式	5人
令和7年3月14日	市内中学校・義務教育学校卒業式	3人
令和7年3月26日	教育実践表彰授賞式（広陽小・啓西小・西陵中・南町中）	1人
令和7年3月24日	市内小学校卒業式	3人
令和7年3月27日	教育実践表彰（大空学園）	1人

延べ137人

２　点検及び評価の基本的な考え方

（１）趣旨

効果的な教育行政の推進をはかるとともに、市民への説明責任を果たすため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律に基づき、教育の取り組みについて点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を議会に提出し、あわせて市民に公表するものです。

（２）対象

「帯広市教育基本計画（令和２年度～令和11年度）」の体系に従い、令和６年度に実施した取り組みを対象として、点検及び評価を実施しました。

（３）方法

点検及び評価は、第七期帯広市総合計画の施策・事務事業評価と整合をはかりつつ、「帯広市教育基本計画（令和２年度～令和11年度）」の「個別施策」ごとに行いました。具体的には、成果指標の達成状況や令和６年度における主な取り組みなどを踏まえながら、令和６年度における取り組みの成果と、課題及び今後の方向性の２つの観点から、点検及び評価を行いました。

（４）学識経験者の知見の活用

学識経験者から点検及び評価に関する意見や助言をいただき、教育委員会が点検及び評価を行うに当たって客観性を確保するとともに、今後の取り組みに活用していきます。

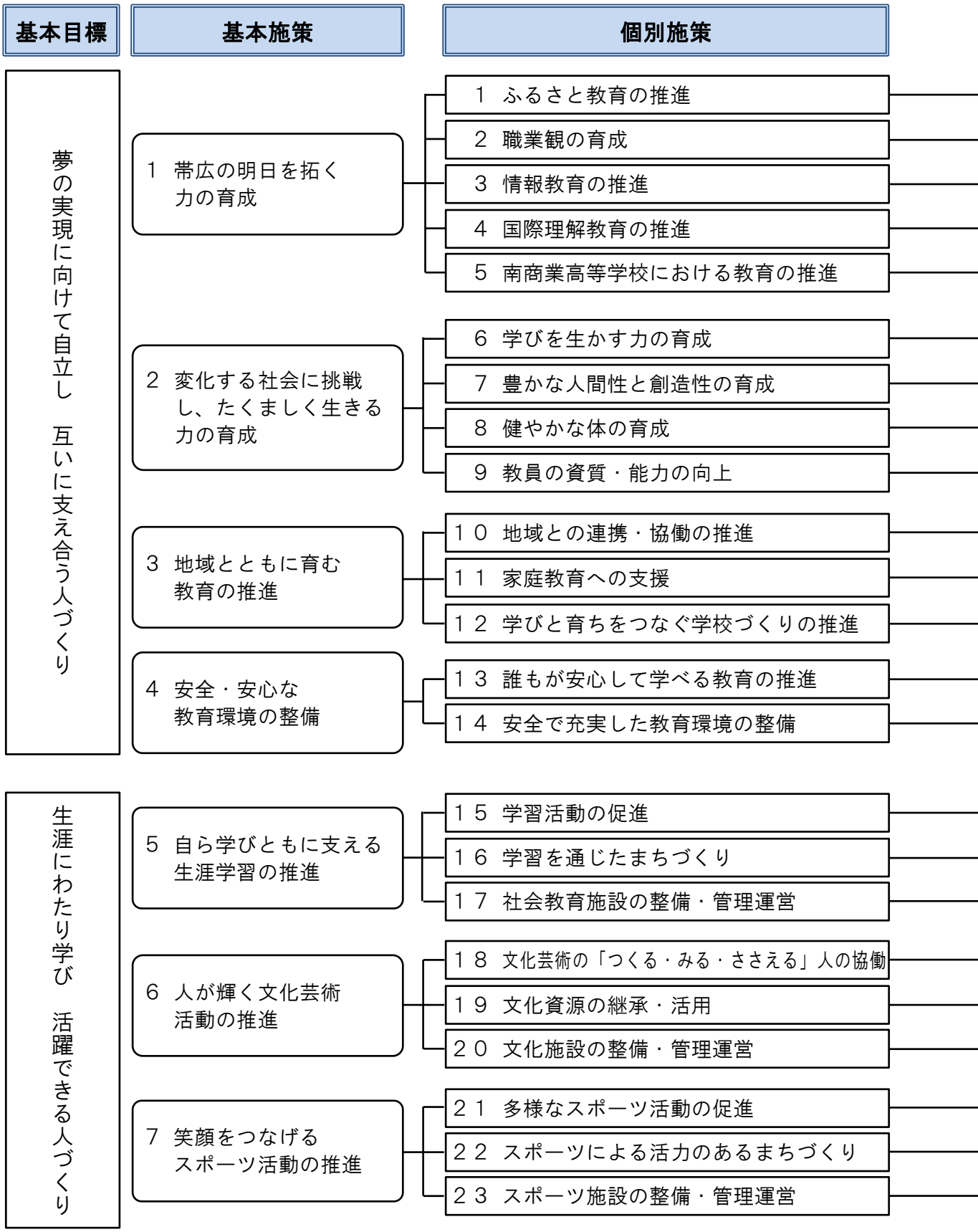
参考1　地方教育行政の組織及び運営に関する法律（抜粋）

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条　教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第１項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第４項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

２　教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

（５）帯広市教育基本計画の施策体系



めざす姿

子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、社会の一員として地域活動に積極的に参加しています。

子どもたちが様々な職業に興味を持ち、働くことの大切さや地域産業への理解を深めています。

子どもたちがインターネットに関する基本的なルールを理解し、情報通信機器を正しく活用しています。

子どもたちが世界の多様な文化に関心を持ち、外国の人と交流しようとする姿勢を身に付けています。

生徒たちが専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材が育っています。

子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に粘り強く取り組んでいます。

子どもたちが互いの価値観を尊重し、多様な人と協力し取り組んでいます。

子どもたちが運動に親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。

教員が子どもたちと向き合い、子どもたちの力を引き出す指導が行われています。

地域の人たちが子どもたちの教育に積極的に関わり、健やかな成長を支えています。

各家庭において、子どもたちが規則正しい生活習慣や社会的なマナーを身に付ける教育が行われています。

学校間の連携により、子どもの個性を理解し尊重した指導が継続的に行われています。

障害の有無や家庭の経済状況等に関わらず、誰もが安心して学んでいます。

安全で機能的な学校施設の整備など、良好な教育環境のもとで、子どもたちが充実した学校生活を送っています。

誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。

学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。

社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。

文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。

歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。

市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。

誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。

誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。

スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの人がスポーツ施設を活用しています。

３　点検及び評価の結果

（１）　基本目標　　夢の実現に向けて自立し　互いに支え合う人づくり

基本施策１　帯広の明日を拓く力の育成

個別施策	**１－１ ふるさと教育の推進**
めざす姿	子どもたちが地域に誇りと愛着を持ち、社会の一員として地域活動に積極的に参加しています。
施策担当課	学校地域連携課、学校給食センター、学校教育指導課、教育研究所、児童会館、百年記念館、動物園、スポーツ課

成果指標の状況

指標名	地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	44.7	39.4	48.8	49.6	73.1	81.1	60.0以上
中学校	39.1	38.9	41.1	42.9	65.9	76.8	55.0以上

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して小学校では8ポイント、中学校では１０.９ポイント増加し、目標値を達成しています。R5に新型コロナウイルス感染症の分類が５類に移行した後、「おびひろ市民学」での出前授業等、外部人材と連携・協働しながら地域や環境について学ぶ機会が増加したことに伴い、地域への理解促進や問題解決力の育成が図られたことが要因であると考えます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ ボランティア等を通した地域貢献活動の推進

各学校において、働くことや社会のために奉仕する意欲や態度を育むために、課題を基に自分ごととして考える時間を増やすことで、特別の教科「道徳」の学習の充実を図りました。

また、ボランティア活動に参加することを通して、仲間と協力して仕事をする楽しさや働くことの満足感、仕事を成し遂げた際の喜びや手応えなど、働く意義や社会に奉仕する喜びを実感する機会をもちました。

水路で遊ぶ幼稚園児のためにデッキブラシで清掃する生徒たち

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)地域資源を活用したふるさと理解の促進 食や福祉、文化等、様々な視点から帯広を知るための授業である「おびひろ市民学」を通して、地域社会の一員としての意識を高め、地域への誇りと愛着を育む教育を進めるとともに、小中義務教育学校９年間の学びがつながるようプログラムの充実を進め、全３５講座のほかに、学校が主体的に追加できるオプション講座を新たに７講座開設しました。 また、学校以外の各種教育施設においても、それぞれの特色を活かし、展示や各講座、スポーツ体験等を通した学びの機会を提供しました。
	(2)食を通じたふるさと理解の促進 「ふるさとの日」や「学校給食週間」における、地場産食材を活用した給食の提供を通じて、児童生徒の地域の食や産業への理解促進を図りました。また、「おびひろ市民学」において「帯広らしい食育プログラム」を実施し、栄養教諭や食育指導専門員による、食を通じたふるさと理解を進めました。
	(3)地域社会に参画する意識の醸成 各団体等と連携し、体験活動やリーダー研修を通して地域や学校での活動に取り組む青少年リーダーを養成しました。また、防災・減災への啓発を目的として、地域における自主防災活動への参加や活動の活性化を促すための、親子防災講座を実施し、自主防災活動やまちづくりに参画する社会の一員としての意識づくりに取り組みました。
	(4)環境教育の推進 環境破壊や自然災害を自らの課題として捉え、課題解決にあたる主体性を育むため、実社会との結びつきを意識した教育を進めたほか、児童会館や百年記念館での展示・出前講座等により環境について考え学ぶ機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)地域資源を活用したふるさと理解の促進 郷土への愛着や誇りを育むため、引き続き「おびひろ市民学」による学びを進めるほか、新たな講座（プログラム）の開発を進めます。また、地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供します。
	(2)食を通じたふるさと理解の促進 地域の食や産業への理解促進を目的として、今後も地場産食材を活用した「ふるさと給食」を提供するほか、「おびひろ市民学」における「帯広らしい食育プログラム」を実施し、栄養教諭や食育指導専門員による、食を通じたふるさと理解を進めます。
	(3)地域社会に参画する意識の醸成 各団体等と連携しながら、体験活動やリーダー研修を通じた、養成事業の充実を図ります。また、子どもたちが消費者の権利や責任ある消費行動を理解し、計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の基本的な知識を身に付ける機会を提供するほか、小中義務教育学校において親子防災講座を実施し、ボランティアや防災活動への参加意識を高めます。
	(4)環境教育の推進 学校での環境教育を推進し、子どもたちが地域の自然環境について学び・考える機会を設けるほか、帯広の自然や学校以外の教育施設を活用した体験機会を提供します。

個別施策	**１－２ 職業観の育成**
めざす姿	子どもたちが様々な職業に興味を持ち、働くことの大切さや地域産業への理解を深めています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況

指標名	人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合（%）						
区分	基準値【H27～R1平均】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	93.6	93.8	95.6	93.8	93.8	94.9	100.0
中学校	94.6	95.6	95.5	96.9	95.5	96.7	100.0

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して小学校では1.1ポイント、中学校では1.2ポイント増加し、目標値に向けて進捗しています。「おびひろ市民学」の授業等を通して多様な職業の大人から社会参画の意義等を子どもたちに伝えたり、一人一台端末を活用し、キャリア・パスポートに基づく系統的な学習を行ったことが、キャリア意識の醸成につながっているものと考えられます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆「おびひろキッズタウン」における職業体験

キャリア教育の一環として、地域の企業や官公庁の参加による職業体験「おびひろキッズタウン2024」を開催しました。

令和６年度から民間企業の視点をいかした、より魅力あるイベントとするため、業務委託した民間企業と共催で実施し、地域社会全体で子どもを育てる機運を高めつつ、仕事の楽しさやお金の価値、働くことの意味など、社会のしくみを学ぶ機会を提供することができました。令和６年度は第４学年を対象に実施し、２６７名の参加がありました。

出展企業の指導のもと
職業体験をする様子

◆　小学生を対象にした「なりきり図書館員」の実施

小学生が図書館サービスの仕事を体験する「なりきり図書館員」を実施しました。

抽選で選ばれた１３人の小学生が参加し、返却ポストの本の回収やカウンターでの貸出返却対応等の体験を通じて、読書への関心を高め、図書館員の仕事について理解を深める機会を提供しました。

参加者からは、普段入ることができない書庫の本の多さに驚きの声が上がっていました。

閉架書庫の本を探している様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)学校におけるキャリア教育の推進 多様な職業について理解を深め、地域社会の一員としての意識を育むため、地元企業等と連携し、外部講師による体験学習や講話等の授業を行いました。また、一人一台端末を活用したオンライン工場見学やインターネットによる調べ学習等を実施し、キャリア・パスポートを有効に活用した系統的な指導に取り組みました。
	(2)職業体験機会の充実 美容師や銀行員、スーパー店員など、２７の職業体験ができる「おびひろキッズタウン」を地域の企業や官公庁の協力のもと実施しました。 図書館では、小学生を対象に「なりきり図書館員」を実施したほか、職業体験やインターンシップ、職業インタビューを通じ、市役所や司書の仕事について理解を深める機会を提供しました。 百年記念館では、中高校生向けのインターンシップとして、博物館での仕事を体験する機会を提供しました。 動物園では、飼育体験等の講座を実施したほか、大学生の博物館実習やインターンシップの受け入れ、小中義務教育学校からの依頼による職業調べや講話を通じ、飼育員や獣医師の仕事について理解を深める機会を提供しました。 児童会館では、中学生の職場体験学習、大学生のインターンシップの受け入れを行い、仕事を体験する機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)学校におけるキャリア教育の推進 「おびひろ市民学」において「キャリア・パスポート」の視点を取り入れた「おび学ファイル（ポートフォリオ）」を９年間継続して活用し、児童生徒の系統的な学びの充実による社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上を図ります。また、地域住民や企業と連携した未来の子どもに求められる資質や能力を育成するための取り組みである、おびひろスクールコラボを促進するなど、引き続き、児童生徒が主体的に学び、行動する力の育成を進めながら、自分の将来について考える機会の増加につなげるとともに、積極的にキャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、情報を共有し学校間の連携を図ります。
	(2)職業体験機会の充実 「おびひろキッズタウン」の開催においては、参加企業の協力のもと、職業体験機会を提供します。 図書館、児童会館においては、継続的にインターンシップ等の受け入れ依頼があることから、体験者が希望する分野に沿った職業体験機会を提供します。 百年記念館においては、地域のことを調べて紹介する博物館としての特色を活かしたインターンシップを継続し、地域に根差した職業体験機会を提供します。 動物園においては、飼育体験等の事業におけるアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実に向けて取り組みます。

個別施策	**１－３ 情報教育の推進**
めざす姿	子どもたちがインターネットに関する基本的なルールを理解し、情報通信機器を正しく活用しています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課

成果指標の状況

指標名	授業でコンピュータなどのICTを活用したいと思う子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	87.4	81.0	―	―	86.0	85.0	90.0以上
中学校	73.8	79.0	―	―	78.0	77.0	80.0以上

＜成果指標の達成状況＞

全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R3・R4についての実績値はありませんが、施策の状況を把握するために、R5より全児童生徒を対象に独自で調査を行っています。

その結果、小中学校ともにR5の実績値と比較して１ポイント減少しました。一人一台端末が導入されてから４年が経過し、各学校の授業等での活用が進み、子どもたちにとってICTが文房具のように身近なものとなってはいますが、実際に自分たちが学習するにあたって有益だと実感できるような活用を進める必要があります。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ **専門家と連携した情報モラル教育の実施**

各学校では、一人一台端末を活用し、情報の整理・比較・発信力を育む学習活動を展開するとともに、教員のICT指導力向上を図る研修を実施しています。

情報モラルについては、著作権やプライバシー保護に関する指導を教育課程に位置付け、専門家による子どもと保護者を対象とした講演会や啓発活動を通じて安全なインターネット利用を促進しています。さらに、子どもたちの発達段階に応じたプログラミング教育を進め、企業との連携による専門授業の実施や、ICT活用の資質・能力の育成に取り組んでいます。

また、帯広スクールコラボにおいても、外部講師による授業を通じて、効果的なICT活用やSNS活用ついての子どもたちの理解を深めました。

小学校で行われた「専門家から学ぶメディアとのつきあい方（デジタルシティズンシップ教育）」

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)情報活用能力の育成 　各学校では総合的な学習の時間において、子どもたちが様々な情報を主体的に収集・整理・分析し、発信・伝達する力を育成するため、一人一台端末等のICTを活用した学習活動に取り組む教育課程を編成しています。また、長期休業中における研修講座や、およびGIGA支援員派遣による校内研修により、教員のICTを活用した指導力の向上に取り組みました。
	(2)情報モラルの育成 　各学校において、「特別活動」「道徳科」及び「総合的な学習の時間」で、情報モラルについての正しい知識を身に付け、著作権やプライバシーの保護等について理解を深められるよう教育課程を編成しました。また、関係機関と連携し、各学校の生徒指導担当の教職員を対象にした講演会を開催したほか、携帯電話契約時のフィルタリングについての説明状況等の確認のため、携帯電話販売店への立入調査を実施するなど、インターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組みました。
	(3)プログラミング教育の推進 　コンピュータに意図した処理を実行するよう指示するプログラム体験を発達の段階に応じて実施する等、プログラミング的思考やICTを活用するために必要な資質・能力の育成に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)情報活用能力の育成 　一人一台端末の日常的な活用の充実に向けた各学校への指導・助言、国や道の通知等の情報発信に取り組みます。また、社会において情報がどのように活用されているか理解を深めるため、地元企業等と連携しICTを活用した教育を進めます。
	(2)情報モラルの育成 　関係機関や事業者、家庭と連携して、インターネットの利用に伴う危険性やフィルタリング機能の活用、SNSの正しい利用やインターネットの安全利用等について、国や道の通知の共有や、出前講座の開催等を通じた啓発に取り組み、情報モラルを育成します。
	(3)プログラミング教育の推進 　一人一台端末を活用したプログラミング教育を行う単元について、各学校が教育課程へ位置付けるとともに、中学校技術科において、プログラミングを学習するアプリケーションを全中学校に導入し、より実践的な授業を展開します。

個別施策	**１－４ 国際理解教育の推進**
めざす姿	子どもたちが世界の多様な文化に関心を持ち、外国の人と交流しようとする姿勢を身に付けています。
施策担当課	学校教育指導課

成果指標の状況

指標名	外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思う子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H29～R1 平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	66.3	―	―	―	75.0	75.0	75.0 以上
中学校	64.4	―	―	―	70.0	69.0	75.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R2～R4についての実績値はありませんが、施策状況を把握するために、R5 より全児童生徒を対象に独自で調査を行っています。

R5と比較して、中学校で１ポイント減少しましたが、小学校・中学校ともに基準値を上回る結果となっており、小学校では目標値に達しています。「おびひろ市民学」の必須単元で JICA 帯広を訪問し、実地学習等で国際理解を深めたり、小学校での外国語が実施されていることで、外国に対する興味関心が高まってきているものと考えられます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ **外国語指導講師（ALT）を活用した授業実践**

小学校段階から「聞く・話す・読む・書く」の技能をバランスよく育成する系統的な外国語指導を実施し、ALT 研修や外国語専科教員の配置により授業力の向上を図りました。

また、ALT や国際交流員との交流を通じて、実践的な英語力と体験的なコミュニケーション能力の育成に取り組みました。さらに、外国語のサポート学習や地域施設を活用した国際理解教育を推進し、多様な国の伝統や文化への理解と他者を尊重する態度の育成を進めました。

ALT 研修の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)外国語を用いたコミュニケーション能力の育成 　小学校段階から外国語に親しみ、「読む・書く・聞く・話す」技能をバランスよく身に付けるため、各学年段階のつながりを意識した系統的な指導を行いました。また、外国語指導講師（ALT）の指導力向上のために、互いの授業を見学し意見交換を行う「ALT 研修」を実施したほか、長期休業期間に学校のニーズに応じて ALT を派遣し学習のサポートをするなど、児童生徒が外国語に触れる機会を充実させました。また、発達の段階に応じた指導計画を作成し、外国語指導講師や国際交流員等を効果的に活用し、生きた英語に触れる機会を提供するなど、体験的なコミュニケーション活動に取り組みました。
	(2)多様な国の伝統・文化に関する理解の促進 　世界の中の日本人として自覚を持ち、世界の民族の多様性言語や文化の違いに気づくことのほか、それぞれの生活・習慣・価値観を理解し協調しながら互いに尊重し合う姿勢を育むために、ALT や市の国際交流員との交流、JICA 帯広の授業等を通じて、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)外国語を用いたコミュニケーション能力の育成 　児童生徒の外国語によるコミュニケーション能力向上のため、小学校における外国語専科教員の配置や ALT を活用した授業に引き続き取り組むほか、ALT の研修を行い、授業力の向上を図ります。また、長期休業期間等を通じ、ALT による外国語のサポート学習に引き続き取り組むとともに、ALT との触れ合いを通して、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上を進めます。
	(2)多様な国の伝統・文化に関する理解の促進 　子どもたちが多様な国の伝統・文化に関する理解を深めることができるよう、ALT や市の国際交流員との交流をはじめ、森の交流館・十勝等、地域の施設や人材を積極的に活用し、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践を進めます。

個別施策	**１－５ 南商業高等学校における教育の推進**
めざす姿	生徒たちが専門的な知識・技術を身に付け、地域で活躍する人材が育っています。
施策担当課	南商業高等学校

成果指標の状況

指標名	地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	26.7	15.7	16.6	17.6	33.3	31.1	50.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して 2.2 ポイント減少していますが、基準値を上回っており、R5 からほぼ同じ割合を維持しています。ボランティア活動が感染症拡大前の状態にもどり、活動の機会が増加したことによるものと考えられます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ 南商業高等学校におけるキャリア教育の充実

即戦力となる人材育成のため、計画的・組織的・系統的な進路指導や資格取得の支援等を行っています。

１年生では、本校卒業生から就労体験を聞く「先輩訪問」や進路学習を行い、進路実現への意欲を高めるとともに、今何をするべきかを考える機会としています。２年生は、外部講師を招き、身だしなみや礼儀作法の指導を受けるマナー講習会を開催しました。３年生では、５月に面接基本指導、９月には模擬面接指導など、進学や就職試験に備えて準備を行いました。

マナー講習の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)商業教育の充実 商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習に取り組んだ結果、卒業までに全国商業実務検定の１級を３種目以上取得した生徒の割合が全道で最多の73.9%となりました。また、令和元年度を最後に感染症流行のため中止していた姉妹都市マディソン市への留学生派遣を5年ぶりに実施し、5名の生徒が参加しました。
	(2)地域経済に貢献する人材の育成 マナー講習会の開催、各種の模擬試験の実施等に取り組んだ結果、前年に引き続き就職・進学ともに内定率 100%を達成しました。
	(3)地域社会との連携・協働による教育の推進 学校評価を活用し、学校の運営状況や教育活動について改善を図る取り組みを進めました。また、学校・家庭・地域が協働しながら子どもの健全な育成を図るため、学校運営協議会を開催しました。
	(4)地域とつながる活動の推進 地域住民に学習機会を提供し、地域と学校のつながりの促進するため、2月に開催を予定していた学校開放講座は、大雪による休校により中止となりましたが、感染症対策のため縮小していたボランティア活動は、感染症拡大前の状態に戻っています。
課題及び 今後の方向性	(1)商業教育の充実 商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高める指導に取り組むとともに、多様な進路に対応した教育課程を編成します。また、国際理解教育については、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携し、安全に交流できる体制や研修内容を検討します。
	(2)地域経済に貢献する人材の育成 外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や各種検定試験合格に向けた学習支援等により即戦力となる人材育成に取り組みます。
	(3)地域社会との連携・協働による教育の推進 学校運営協議会から学校運営に対する意見をいただくほか、学校評価を活用するなどして、学校の運営状況や教育活動について今後も改善を図ります。
	(4)地域とつながる活動の推進 学校開放講座については、学校施設や人材の活用により地域住民に学習機会を提供できるよう内容の充実に取り組み、学校の理解促進を図ります。 ボランティア活動については、活動を通じて生徒が地域社会とのつながりや地域へ果たす役割を学べるよう、主催者等と連携を図ります。

基本施策２　変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

個別施策	**２-６ 学びを生かす力の育成**
めざす姿	子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に粘り強く取り組んでいます。
施策担当課	学校教育指導課、教育研究所、図書館、児童会館

成果指標の状況

指標名	授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合（%）						
区分	基準値【H30～R1平均】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	75.8	71.7	74.8	76.1	74.5	78.6	85.0以上
中学校	79.8	75.7	85.2	81.9	84.7	82.4	85.0以上

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して小学校では4.1ポイント増加し、目標値に向けて進捗しています。中学校ではR5と比較して2.3ポイント減少したことから、各種学力調査の分析結果や帯広市教育委員会作成の教材を活用した授業改善を進める必要があります。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ **授業改善に向けた指導**

各学校に対して学校教育指導訪問を行い、学校経営をはじめ、教育課程、校内研究、学習指導等への指導・助言を行っています。

授業改善に向けて、学校における授業の工夫や改善のアプローチについて交流を行い、その後、指導主事から指導・助言を行いました。

このような働きかけを通して、学校では、子どもたちが意欲的に学び、課題の解決に向けて、粘り強く取り組む授業づくりに取り組みました。

学校教育指導訪問で授業を観察する様子

◆ **学力の分析・検証**

標準学力調査結果の分析を基に、本市児童生徒の学力の傾向と課題を整理した「帯広の子どもの学力」を発行しました。

また、標準学力調査結果の分析から、成果をあげている学校の取り組みを「授業改善通信」にまとめました。

（左）授業改善通信
（右）帯広の子どもの学力

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)学校における授業の工夫・改善 「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視し、一人一台端末を活用した授業の推進により、個別最適な学びや協働的な学びを進めました。また、自分の考えやグループでの話し合いについて、相手に分かりやすく伝える授業実践も増えてきています。
	(2)学習活動の支援 教育研究所ホームページにおいて、常時ダウンロード可能な小中学生向け教材を掲載したほか、朝の読書や調べ学習等における「ぶっく一る便」の活用、放課後の学習会開催等の学びの機会を提供しました。また、不登校児童生徒の学びを保障するために、メタバース空間「ひろびろチョイス」を活用した学びを進め、新たな学びのコンテンツとして、興味・関心が同じ児童生徒の小集団で学んだり、交流する「クラブチョイス」を追加しました。
	(3)教育課程の工夫・改善 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施を支援するため、「教育課程編成の手引き」を作成し、行事の方向性等の共有を図ったほか、小中義務教育学校において、一貫性のある教育が実施されるよう、エリアを中心として学力や体力向上等の課題に向けたエリア共通の取り組みを設定する等の小中連携を進めました。
	(4)学力の分析・検証 標準学力調査の分析結果をまとめた「帯広の子どもの学力」を小中義務教育学校に配布することで、各学校で自校の学力分析・検証を行い、児童生徒の実態を把握して授業改善につなげ、学力の向上に寄与しました。
	(5)体験的・問題解決的学習の推進 学校での授業のほか、児童会館での科学実験・工作、図書館での講習会の開催等、科学や自然に対する興味・関心を高め、科学的なものの見方や考え方を養う体験学習を進めるとともに、関係機関と連携しオンラインを活用した施設見学を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)学校における授業の工夫・改善 個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実と「子ども」が主体となる授業実践に向け、一人一台端末をより主体的に活用する授業に取り組みます。
	(2)学習活動の支援 一人一台端末で活用できる教材作りに引き続き取り組むほか、「ぶっくーる便」については、計画的な入替により子どもたちにとって魅力的な図書を提供します。また、不登校児童生徒の学びを保障するため、メタバース空間「ひろびろチョイス」をはじめとするオンラインを活用した学びの充実を進めます。
	(3)教育課程の工夫・改善 目標の実現に必要な教育の内容等を横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実を図るとともに、小中義務教育学校の適切な教育課程の編成と学習指導の改善に資するために「教育課程編成の手引き」の見直しを継続します。
	(4)学力の分析・検証 子どもたちの学力の実態や標準学力調査の特徴を総合的に分析し、指導方法の改善につながる事項を示して、学校に還元します。
	(5)体験的・問題解決的学習の推進 図書館や児童会館では、学校のニーズを踏まえながら各種の学習機会を提供します。

個別施策	**２－７ 豊かな人間性と創造性の育成**
めざす姿	子どもたちが互いの価値観を尊重し、多様な人と協力し取り組んでいます。
施策担当課	学校教育課、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況

指標名	学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	69.7	70.7	76.6	78.3	79.7	84.1	85.0以上
中学校	71.1	79.5	78.7	81.7	83.6	89.2	85.0以上

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して小学校では4.4ポイント、中学校では5.6ポイントと小中学校ともに大きく増加し、中学校では目標値を上回りました。各学校において、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた取り組みが深化してきたことが要因であると考えます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ **文化芸術活動への支援**

吹奏楽部及び合唱部の全道大会への参加を支援し、文化系クラブの活動を促進しました。

また、小中学校文化連盟の活動を支援したほか、全小学校の児童を対象とした劇団四季鑑賞事業を実施し、小中義務教育学校における文化芸術活動の充実を図りました。

全道大会に出場する
吹奏楽部の皆さん

◆ **道徳教育の充実**

公開研究会等を活用し、校内外における教職員向け研修の充実と、道徳科の授業改善を進めました。

また、他教科との関連や体験活動の充実等による道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性を育む取り組みを進めました。

また、北海道教育委員会主催の「子どもの心に響く道徳教育推進事業」を活用し、スポーツ選手等を講師に招き、実体験を聞く機会を提供するなど、子どもたちの心に響く道徳教育を推進しています。

ICT を活用した協働的な学びを
取り入れた道徳の授業

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)道徳教育の充実 公開研究会等を活用した校内外における教職員向け研修の充実を図り、考え・議論する道徳に向けた道徳科の授業改善を進めました。また、他教科との関連や体験活動の充実等による道徳科を要とした教育活動を展開し、子どもたちの道徳性を育む取り組みを進めました。
	(2)読書活動の推進 図書ボランティアによる読み聞かせ等のほか、学校図書館の図書整備や朝読書を通じた子どもたちの読書活動への興味関心の向上に取り組みました。また、多様な読書機会を確保するため、おはなし会の開催や、各種ブックリストの作成、電子書籍の利用促進を通じ、学校と図書館が連携した取り組みを行いました。
	(3)文化芸術活動の推進 子どもたちの感性や創造力を育むため、音楽・図画工作・美術・技術・家庭科の授業等において多様な文化芸術の体験的な学習活動を推進したほか、芸術文化に触れる機会を提供するため、子ども向けの鑑賞事業を実施しました。また、各学校においてICT を活用した学習発表会や文化祭が展開されるなど、子どもたちの情操教育に取り組みました。
	(4)体験活動の推進 「おびひろ市民学」において、ICT を活用し工場見学をオンラインで実施するなど、空間的・時間的な工夫を通じて、子どもたちへ体験活動機会の提供に取り組みました。また、各種社会教育施設と連携し、動物とのふれあい体験や科学体験、防災体験や文化芸術体験等、地域の特色を生かした体験活動を推進し、「児童生徒が触れて学ぶ」機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)道徳教育の充実 子どもたちの道徳性を育むため、地域人材やゲストティーチャーの活用のほか、授業改善の視点をもち、校内外における教職員向けの研修の充実を図ります。また、他教科との関連性を大切にした教育活動を展開します。
	(2)読書活動の推進 図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携を図るほか、電子書籍の利用促進を通して読書活動の活性化に取り組みます。また、将来の担い手として、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成します。
	(3)文化芸術活動の推進 演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会の提供を通じて、引き続き子どもたちの文化芸術活動の推進に取り組みます。また、より効果的な各学校の学習発表会や文化祭の在り方を検討し、子どもたちの情操教育を進めます。
	(4)体験活動の推進 ICT を活用する等、空間的・時間的な工夫に継続して取り組むとともに、各種社会教育施設と連携し、魅力ある体験活動機会を提供します。

個別施策	**2－8 健やかな体の育成**
めざす姿	子どもたちが運動に親しみ、心身ともに健康的な生活を送っています。
施策担当課	企画総務課、学校教育課、学校給食センター、学校教育指導課、図書館、スポーツ課

成果指標の状況

指標名	朝食を毎日食べている子どもの割合（%）						
区分	基準値【H27～R1平均】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	94.0	91.0	92.1	91.7	92.5	92.8	100.0
中学校	93.6	94.0	92.9	91.1	89.1	91.6	100.0

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して小学校では0.3ポイント、中学校では2.5ポイント増加し、改善傾向にあるものの依然として基準値を下回っています。食に関する啓発資料等の配布や朝食レシピコンテストの開催、食育指導専門員等を各学校へ派遣し、給食指導の支援や食に関する指導が進めてきており、引き続き、望ましい食生活習慣に係る家庭との連携を充実させていく必要があります。

指標名	1週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合（%）						
区分	基準値【H26～H30平均】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	88.5	－	86.1	89.6	84.8	86.5	95.0以上
中学校	85.9	－	85.9	90.1	81.1	83.4	90.0以上

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して小学校では1.7ポイント、中学校では2.3ポイント増加していますが、基準値を下回っています。全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果をもとに、運動に親しみを持てるような取り組みを進めていく必要があります。

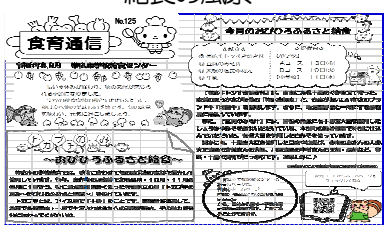
令和6年度の主な取り組みの内容

◆ **安全・安心な学校給食の提供**

地元の新鮮で安全・安心な食材を活用し、児童生徒への栄養バランスを考慮した学校給食の提供を行いました。

また、食物アレルギーを持つ児童生徒に対して安心して楽しく給食時間が過ごせるように、詳細なアレルギー情報や除去食（乳・卵）を提供したほか、児童生徒が「食」に関する正しい知識と「食」を選択する力の習得を図るため、「食育通信」等の配布を行いました。

給食の風景



毎月発行している食育通信

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)体力・運動能力の向上 　各学校において、過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を検証しています。加えて、エリアでの連携を高めるために「体力向上推進プロジェクト」を実施し、小中共通した課題の把握に努め、授業への反映や生活習慣の見直しに取り組んできた結果、児童生徒の体力は改善傾向にあり、全国体力・運動能力、運動習慣等調査において、小学校では全国平均を上回る結果となっています。また、スポーツ少年団や指導員への支援を実施したほか、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興に取り組みました。
	(2)安全・安心な学校給食の提供 　地元の農業関係者等と連携し、安全・安心な地場産食材を取り入れた給食の提供を行ったほか、アレルギーを持つ児童生徒が安心して給食時間を過ごせるよう、「学校給食食物アレルギー対応マニュアル」に基づく取り組みを進めました。
	(3)正しい「食」への理解の推進 　「おびひろ市民学」における必須単元として「帯広らしい食育プログラム」のもと、栄養教諭や食育指導専門員を各学校へ派遣し、給食指導の支援や食に関する指導を行ったほか、朝食欠食率の改善を目指し、食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発を図るため「朝食レシピコンテスト」を実施しました。また、図書館常設の食文化コーナーにて月毎のテーマに合わせて図書を入れ替え、食に関する様々な図書を展示しました。
	(4)健康教育・健康保持 　子どもたちの健康保持増進のため、各学校での学校保健委員会の開催等を通じた取り組みを働きかけたほか、がん教育や体育・健康に関する指導を行いました。また、基本的な感染症対策の継続に必要な衛生用品の購入を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)体力・運動能力の向上 　体力向上推進プロジェクトチームによる研修会の開催及び各学校での大学教授等の外部講師を活用した専門的な指導を通じて、授業改善を図るとともに、子どもたちの体力・運動能力の分析・検証を進めます。また、各団体への支援を通じて指導者の育成を図り、少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組むほか、スピードスケート教室などを通じたスケートの普及振興に取り組みます。
	(2)安全・安心な学校給食の提供 　地場産食材の導入を進めるほか、適切な栄養バランスを考慮した学校給食の提供により児童生徒の健全な心身の発達を図ります。また、食物アレルギーを持つ児童生徒が増加傾向にあることから、アレルギーに関する正確な情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組みます。
	(3)正しい「食」への理解の推進 　子どもたちが食事や栄養の摂り方等について、正しい知識に基づいて自ら判断し健全な食生活を実践できる資質・能力を育むため、おびひろ市民学による食育の指導をはじめ、「食育通信」等の資料の配布や、帯広市食育推進部会による児童生徒と家族が一緒に朝食作りに取り組むイベント、食育講演会を実施します。また、図書館では食育月間に合わせて、食をテーマにした映画会・おはなし会を開催し、食への理解を促進します。
	(4)健康教育・健康保持 　子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値を尊重し、相手を思いやる心を醸成できるよう、発達の段階に応じた教育を進めます。

個別施策	**２－９ 教員の資質・能力の向上**
めざす姿	教員が子どもたちと向き合い、子どもたちの力を引き出す指導が行われています。
施策担当課	企画総務課、学校教育課、学校教育指導課、教育研究所、スポーツ課

成果指標の状況

指標名	授業の内容がよくわかると思う子どもの割合（%）						
区分	基準値【H27～R1平均】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	82.6	83.1	84.8	83.8	81.3	81.2	90.0以上
中学校	74.8	71.2	79.4	79.0	78.0	80.9	80.0以上

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して中学校では2.9ポイント増加し、目標値を達成しましたが、小学校では0.1ポイント減少しています。指導主事による学校教育指導訪問、学校管理職や教職員の指導力・資質能力の更なる育成・向上を目指した研修等において、一人一台端末の効果的な活用等、今日的な教育課題について、積極的かつ具体的な協議を今後も進めていく必要があります。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ **教職員向け講座・研修の開催**

教員の資質・能力の向上に関わる取り組みとして「夏季・冬季研修講座」、「ONE-UP研修会」を開催しました。

また、教職員経験年数20年以上の教職員を対象とした講義や協議、演習等の実践的な研修により、教職員としての知識技能の更新や職能向上を図る「エキスパート教職員実務研修」、初任段階教員同士で日常の実践や成果等の交流をとおして教員としてのネットワークを広げながら教職員としての資質能力の向上を図る「ヒバリーカフェ」を開催しました。

夏季研修講座の様子

ONE-UP研修会の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)教員の指導力の向上 　指導主事による学校教育指導訪問において、管理職や教職員に指導・助言を行ったほか、学力向上推進プロジェクトチームによる授業改善ワンポイント講座を実施しました。また、ICT の効果的な活用を一層促進するため、夏季・冬季研修講座において、GIGA スクールの先進地から講師を招いた研修の実施や、「おび GIGA 支援員」を派遣し各学校の要望に応じた支援を行いました。
	(2)教職員の働き方改革の推進 　教職員の勤務状況の改善等に向けて、令和６年５月に「帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第３期）」を策定し、各学校と連携した取り組みを実施した結果、教職員の時間外在校等時間は減少傾向にあります。また、校務の効率化のため、令和６年８月までに、小中義務教育学校への留守番電話の導入を完了したほか、夏季学校閉庁日の３日から５日への延長や、夏休みプール利用日における引率を学校から市教委へ変更するなど、教職員の負担軽減を図りました。
課題及び 今後の方向性	(1)教員の指導力の向上 　学力向上推進プロジェクトチームの会議等を通じて、小中義務教育学校の教職員がエビデンスに基づいた授業改善を目指すとともに、教員の資質能力や豊かな人間性と社会性の向上を進めます。また、教職員向けの研修については、受講率の向上を図るため、今日的な教育課題やニーズにあった内容とし、教職員の技能や指導力向上につながる講座の企画に取り組みます。
	(2)教職員の働き方改革の推進 　これまでの取り組みにより、教職員の時間外在校等時間は減少してきていますが、推進プランの目標である「1 か月あたりの上限 45 時間」を超えている教職員が一定数おり、引き続き働き方改革に取り組む必要があります。今後、ICT を活用した校務の効率化や学校行事の見直し、部活動指導に関わる負担の軽減など、推進プランで掲げる各項目について、学校及び市教委関係課等で協力して取り組みます。

基本施策３　地域とともに育む教育の推進

個別施策	**３－１０ 地域との連携・協働の推進**
めざす姿	地域の人たちが子どもたちの教育に積極的に関わり、健やかな成長を支えています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課、生涯学習文化課

成果指標の状況

指標名	地域の行事に参加している子どもの割合（%）						
区分	基準値【H27～R1平均】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	58.2	50.4	47.8	46.3	50.0	70.0	70.0以上
中学校	35.2	34.3	35.1	29.3	31.7	46.0	50.0以上

＜成果指標の達成状況＞

R6から、全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなくなったため、施策の状況を把握するために、全児童生徒を対象に独自で調査を行っています。R5と比較して小学校では20.0ポイント、中学校では14.3ポイント増加し、小中学校ともに基準値を上回り、小学校は目標値を達成しました。新型コロナウイルス感染症が第５類に移行した後、気軽に参加できるような地域側の工夫や主催者の努力だけではなく、家庭の意識変化等が要因であると考えます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ こども学校応援地域交付金事業の推進

地域の子どものために活動しているボランティア団体同士の連携を促進するため、こども学校応援基金を活用し、活動を支援する交付金事業を行っています。

令和６年度は、交付金の周知啓発に取り組んだことで、夏祭りや防災教室、環境整備等、過去最多となる２１件の交付事業を実施しました。

防災教室の様子
（緑丘小学校）

◆ 子どもの居場所づくり事業の実施

子どもの社会性や自主性を育むため、地域ボランティアやNPO法人が、放課後や休日に小学校の体育館などを活用し、異学年の友達や地域の人との交流など、様々な体験・活動ができる機会を提供しています。令和６年度は、実施回数５１５回、延べ１４,４７２名の児童が参加しました。

また、ボランティアスタッフの募集のため、PR活動を行ったほか、ボランティア養成講座を開催し指導技術等の向上に取り組みました。

放課後子ども広場の様子
（七夕飾り作り）

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)地域における支援体制の充実 研修会の開催やコミュニティ・スクール通信の発行により、各学校の活動や協議内容の情報周知に取り組んだほか、指導主事の学校教育指導訪問時にコミュニティ・スクール導入による好事例の紹介等を行いました。また、学校・家庭・地域が一体となった活動の促進や人材育成のため、「帯広市学校・家庭・地域協働会議」における意見交換や学校運営協議会委員、地域ボランティア、地域コーディネーター向けの研修会を実施したほか、「こども学校応援基金」を活用したこども学校応援地域交付金により団体同士が連携した活動への支援を行いました。
	(2)子どもの安全対策の充実 登下校時の子どもの見守り活動を全小中義務教育学校で実施したほか、災害情報や不審者情報だけでなく、熱中症等に関わる情報提供も加えた、「帯広市子供安全ネットワーク」を活用した保護者への速やかな情報発信に取り組みました。また、庁内外の関係機関と連携して通学路危険か所の点検を行い、点検結果を公表し、安全対策について関係機関へ依頼したほか、登下校時に危険が迫った場合等に逃げ込む「子ども１１０番の家」の設置について協力を依頼しました（令和６年度末現在９６９か所）。
	(3)地域主体の体験活動への支援 子どもの居場所づくり事業においては、異世代交流や多様な体験活動を通して、豊かな人間性や社会性の涵養（かんよう）に取り組みました。青少年育成団体の活動においては、実施可能な事業について工夫して取り組み、子どもたちに体験活動機会を提供しました。
課題及び今後の方向性	(1)地域における支援体制の充実 学校・家庭・地域の連携・協働による「地域とともにある学校づくり」を進めるため、地域との熟議や協働による取り組みを進めるほか、指導主事による学校教育指導訪問時に、取り組み状況に応じた全国の好事例の情報提供を行います。また、学校と地域との連携した活動や学校運営協議会委員の研修等に取り組むほか、こども学校応援地域交付金による各地域の取り組みを周知し、ボランティア団体同士が連携した活動のさらなる拡大を図ります。
	(2)子どもの安全対策の充実 活動団体の担い手確保を継続し、地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、保護者がいち早く災害情報や不審者情報を得られるよう、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知を進めます。また、通学路の安全確保については、今後も担当部署や関係機関と情報の共有を図りながら、必要に応じて危険か所の合同点検を実施し対策を検討するほか、登録者の確保により「子ども１１０番の家」設置か所の拡充を図ります。
	(3)地域主体の体験活動への支援 放課後子ども広場（子どもの居場所づくり）事業は、事業を担うボランティア登録者数や実施回数及び参加児童数が感染症流行以前より減少しているため、実施方法やPR活動を工夫し事業を継続します。また、青少年育成団体の各事業においては、関係団体と協力し、引き続き魅力ある体験活動機会の提供を進めます。

個別施策	**３－１１　家庭教育への支援**
めざす姿	各家庭において、子どもたちが規則正しい生活習慣や社会的なマナーを身につける教育が行われています。
施策担当課	学校給食センター、学校教育指導課、生涯学習文化課、図書館

成果指標の状況

指標名	家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合（%）						
区分	基準値【H27～R1平均】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	77.8	73.2	―	―	82.0	82.6	85.0以上
中学校	76.6	77.8	―	―	82.0	81.3	85.0以上

＜成果指標の達成状況＞

全国学力・学習状況調査(文部科学省)における調査項目がなかったため、R3・R4についての実績値はありませんが、施策の状況を把握するために、R5より全児童生徒を対象に独自で調査を行っています。

R5と比較して、小学校では0.6ポイントの増加、中学校では0.7ポイントの減少となり、いずれも基準値を上回りましたが、目標値には達していません。引き続き、日常的な教育活動を含め、学校行事等、魅力ある学校生活の提供を目指すとともに、適宜学校だよりやホームページ等で情報発信を行うことで、家庭で学校での出来事を話す機会を充実させていく必要があります。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆　こころの健康観察アプリの導入

市内全中学校及び義務教育学校後期課程に対して一人一台端末を活用した「こころの健康観察アプリ」を導入しました。プライバシーを確保した状態でのアンケートにより、生徒が相談しやすい仕組みをつくるとともに、教職員が生徒のメンタルヘルスの悪化や小さなSOSに気付き、早期の相談、解決につなげることができるよう支援しました。

こころの健康観察アプリの画面

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)教育相談の充実 　こころの教室相談員及び家庭訪問相談員を配置し、子どもの教育に関する悩みについての相談に対応したほか、相談事例の共有や対応方法について協議を行い、教育相談員の資質の向上や相談業務の充実に取り組みました。 　市内全中学校及び義務教育学校後期課程に一人一台端末を活用した「こころの健康観察アプリ」を導入し、教職員が生徒のメンタルヘルスの悪化や小さなSOSに早期に気付き、支援につなげられる取り組みを進めました。
	(2)家庭教育力向上のための支援 　学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、起床や食事の摂取状況を家庭において記録するためのシートを配布し、家庭への助言を行いました。 　また、家庭に向けては「食育通信」の配布等を通じて、児童生徒の家庭における食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発を図りました。 　そのほか、妊娠期からのおはなし会への参加の呼びかけや、乳幼児健診におけるブックリストの配布により、保護者への啓発活動を進めたほか、家庭における日常的な読書習慣の確立を目的に「家読」に取り組みました。
	(3)PTAとの連携の促進 　学校と家庭が連携して子どもたちの健やかな成長を育むため、各学校のPTA間において情報交換を行いました。また、帯広市PTA連合会への補助金の支出やPTAによる各種事業の後援等、PTA活動への支援を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)教育相談の充実 　教育相談員の資質向上のため、相談員会議等における研修やケーススタディを実施し、相談業務の充実を図ります。 　各学校における「こころの健康観察アプリ」活用方法を把握し、好事例について情報共有ができる仕組みをつくることで、体制の充実を図ります。
	(2)家庭教育力向上のための支援 　学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、「おびひろ市民学」を中核として消費者教育・人権教育等様々な視点から啓発を進めます。また、家庭に向けて、図書館における絵本セットの内容の充実に取り組み、子育て世帯への支援を進めます。そのほか、ライフスタイルの変化による児童生徒の食生活の乱れを改善するため、「食育通信」の配布等を通じて食育を進めます。
	(3)PTAとの連携の促進 　家庭における教育力を高めるため、各校のPTAや帯広市PTA連合会等との情報交換を進めるほか、関係団体への行政支援を継続し、連携強化に取り組みます。

個別施策	**３－１２ 学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進**
めざす姿	学校間の連携により、子どもの個性を理解し尊重した指導が継続的に行われています。
施策担当課	学校地域連携課、学校教育指導課

成果指標の状況

指標名	小・中学校９年間を見通した授業を行っている学校の割合（％）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
小学校	19.2	19.2	19.2	32.0	30.8	34.6	100.0
中学校	21.4	21.4	14.3	30.8	15.4	57.1	100.0

＜成果指標の達成状況＞

R5 と比較して小学校では 3.8 ポイント、中学校では 41.7 ポイント増加しており、特に中学校において大幅な改善がみられ、目標値に向けて進捗しています。エリア・ファミリー構想のもと、幼保小中の連携やコミュニティ・スクールの運営、小学校高学年における一部教科担任制などの取り組みが進んだことによるものと考えられます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ **中学校教諭による出前授業の実施**

帯広市では、中学校区を１つのエリアとし、幼保小中間の相互理解を図る「帯広市エリア・ファミリー構想」を推進しています。

令和６年度については、エリア・ファミリーサミットをオンラインで開催し、小学校の児童会代表者と中学校生徒会代表者がいじめ防止の取り組みについて交流を深めました。

また、「中１ギャップ」の解消と、キャリア教育の視点から今後の学校生活や社会生活に対する期待感を高めることを目的に、小学校６年生を対象とした中学校教員による出前授業を実施し、中学校の授業や学校行事、部活動などについて詳しく知る機会を設けました。

小６を対象とした、中学校教諭による出前授業の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)学校間の連携の推進 「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づき、幼稚園・保育所・認定こども園、小学校、中学校において、学びのつながりを意識した教育課程の編成を進めるなかで、それぞれ行われている教育への理解を深めました。また、エリア・ファミリーの代表者が集まり、学力向上、体力向上、生徒指導に関わる諸問題について協議し、エリア共通の取り組みを進める中で、中１ギャップの解消や９年間のつながりを意識した学びの構築に繋げています。
	(2)通学区域の見直しの実施 通学区域が宅地の造成等に合わせた適正な設定とされているか確認を行ったほか、「帯広市小中学校適正規模の確保等に関する計画」に基づく取り組みとあわせて、通学区域の見直しについて検討を行いました。
課題及び 今後の方向性	(1)学校間の連携の推進 小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成を進めます。また、各エリア内における課題を解決するために、授業交流や乗り入れ授業の工夫改善を推進するとともに、学校の教員で構成される課題ごとの部会において、教育課題の共有や取り組みの共通化を図るなど、小中学校の授業交流や教職員による協議等、交流活動の充実を進め、子どもたちの９年間の学びや育ちを、地域全体で支える仕組みづくりに取り組みます。
	(2)通学区域の見直しの実施 小中学校の連携や地域ぐるみの教育を一層推進するため、学校の適正規模の確保に関する取り組みとあわせ、通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、一つの小学校から複数の中学校に分かれる分散進学の解消等に配慮し、通学区域の見直しを進めます。

基本施策４　安全・安心な教育環境の整備

個別施策	４－１３ 誰もが安心して学べる教育の推進
めざす姿	障害の有無や家庭の経済状況等に関わらず、誰もが安心して学んでいます。
施策担当課	企画総務課、学校地域連携課、学校教育課、学校教育指導課、教育研究所

成果指標の状況

指標名	「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合（%）						
区分	基準値【H27～R1平均】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
小学校	96.2	97.5	96.4	96.8	96.0	96.2	100.0
中学校	94.2	96.8	96.2	96.7	97.6	96.8	100.0

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して小学校では0.2ポイント増加、中学校では0.8ポイント減少し、小学校は基準値と同値、中学校は基準値を上回っています。特別の教科道徳を要とした各校における道徳教育の充実や、いじめ・非行防止サミット等の児童生徒主体の取り組みによる成果がみられたものと考えます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ ひろびろチョイスの運営

不登校児童生徒の多様な学びの機会を確保し、社会的自立につなげていくことを目的としてスタートし、「Choice（選べる）」「Connect（つながる）」「Cheer（応援する）」の３つの「C」をコンセプトに、メタバース空間を活用した「ひろびろチョイス」を創設し、オンライン形式と集合形式による多様な学びを提供しました。

令和６年度は126人が登録し、相談員や指導主事、関係機関との連携により、個別学習や教育相談、体験学習等を行いました。

仮想空間に教室開設する「ひろびろチョイス」の様子

◆ 小中学生いじめ・非行防止合同サミットの推進

６月に市内の小中学生100人以上が参加して、オンラインで「仲よく楽しく過ごすために児童会生徒会でどんなことができるか」をテーマに、自分たちのエリアではどのような活動を行えばよいか協議しました。

また、協議に先立ち、各校で集められたリングプルと交換された車いすの贈呈式が行われました。帯広市の学校が力を合わせることで、困難なことも実現できるという体験を共有し、その思いを踏まえて、７月以降各エリアで「仲よく、楽しく過ごせる学校」を目指すために、どのような取り組みができるかを話し合いました。エリアファミリーの協同の取り組みである児童会生徒会が連携した活動のアイデアについても、活発な意見が交わされました。

「小中学生いじめ・非行防止合同サミット」内で行われた車いす贈呈式の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)いじめ・非行の防止 地域の指導協力員と連携し、街頭巡回指導などの非行防止活動を継続して行うとともに、いじめ・不登校・非行等に関する対策委員会による啓発活動を通して、学校・地域が一体となった健全育成を推進しました。また、道徳科の学習を基盤として、いじめや人権に関する課題を子どもたち自身が話し合い、共に考える機会を設け、意識の醸成を図りました。
	(2)不登校への対応 子どもの自立や学校生活への復帰を支援するため、教育支援センターにおいて、個別学習や教育相談の実施に加え、一人一台端末を活用したオンライン授業など、子どもの状況に応じた多様な学びの場を提供しました。また、不登校傾向にある子どもやその保護者に対しては、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカー、こころの教室相談員、家庭訪問相談員等と連携し、相談対応や助言などの支援を行うとともに、校内教育支援センターの活用を通して、学校とのつながりを保ちながら、段階的な社会的自立に向けた支援を進めました。
	(3)教育機会の確保 経済的な理由により児童生徒の就学が困難な保護者へ就学援助費を支給したほか、奨学資金の貸与を通じて、大学等への就学を支援しました。また、農村地域で遠距離通学となる児童生徒への支援としてスクールバスを運行しました。そのほか、市内高等学校の間口確保のため、「公立高等学校配置計画地域別検討協議会」に出席し情報収集を行いました。
	(4)一人一人に応じた教育の充実 個別の指導計画及び教育支援計画の作成、関係機関・保護者との情報共有や特別支援教育に係る教員の知識・技能の習得を進めたほか、 LGBTQ 等の当事者を招いた研修の実施、特別支援学級の設置やアイヌ子弟の遠隔地での就学支援のための扶助費支給等により、支援や配慮が必要な子どもたちの学びの環境整備に取り組みました。また、学力の向上、健やかな成長のため、豊かな自然環境を生かした特色ある教育活動を実施する小規模特認校制度を推進しました。
課題及び 今後の方向性	(1)いじめ・非行の防止 いじめの未然防止や就学支援、非行防止活動などを通じて、子どもたちが安心して学べる環境づくりを進めてきた一方で、複雑化・多様化する児童生徒の背景や抱える課題に対して、より早期に気付き、的確に対応するための支援体制のさらなる強化が求められています。 特に、学校・家庭・地域が一体となって子どもを支えるための継続的な連携や、個別の状況に応じた柔軟な対応を進めていきます。
	(2)不登校への対応 家庭や児童生徒の悩みの複雑化、要因の多様化が見られるため、教育相談員の専門性の向上を図る研修の実施や相談体制の充実、関係機関との連携強化を進めます。また、一人一人の社会的自立を支援できるよう、教育支援センターに創設したメタバース空間「ひろびろチョイス」を活用し幅広いニーズに応えます。
	(3)教育機会の確保 他地域の事例を参考にしながら就学や通学に関わる経済的な支援を行います。また、スクールバスの安定的な運用のため、車両更新や運転手の確保について検討するほか、市内高等学校の間口を維持・確保するため、会議等の機会を通して情報収集や要望活動を行います。
	(4)一人一人に応じた教育の充実 障害や学習において困り感を抱えた子どもたちが、一人一人の特性や状況にあった環境で教育を受けられるよう、教育相談体制の確保と関係機関との連携強化を図るとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備を進めます。 また、教職員向けの研修により、今日的な課題である LGBTQ 等や HSC (Highly Sensitive Child)、ヤングケアラー、障害のある児童などへの理解促進の取り組みを進めます。

個別施策	**４－１４ 安全で充実した教育環境の整備**
めざす姿	安全で機能的な学校施設の整備など、良好な教育環境のもとで、子どもたちが充実した学校生活を送っています。
施策担当課	企画総務課、学校地域連携課、学校教育課、南商業高等学校

成果指標の状況

指標名	長寿命化改修の実施校数（校）						
区分	基準値【H30】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	0	0	1	1	1	1	9

＜成果指標の達成状況＞

R5と同水準にとどまり、目標値に向けて進捗していませんが、長寿命化改修については、多額の工事費を要するうえ、近時の資材・労務単価の上昇により当初見込みを超える費用増が顕在化し、結果として計画全体の遅延を招いていることが要因と考えられます。将来的な事業費等を総合的に勘案し、事業を推進していく必要があります。

※実績値は、長寿命化改修工事を実施した累積の学校数です。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ 小学校、義務教育学校のエアコン整備

夏場の猛暑対策のため、令和７年度末までに小中義務教育学校における空調設備（エアコン）の整備を進めています。

令和６年度は小学校と義務教育学校の普通教室、職員室、校長室、一部の特別教室にエアコンを整備しました。

エアコン設置の様子

◆ 南町中学校長寿命化改修工事等の実施設計

帯広市学校施設長寿命化計画に基づき、南町中学校における施設の老朽化対策及び教室不足の解消に向けた施設整備を計画しています。

令和６年度は、長寿命化改修工事等の実施に向け、実施設計を実施しました。

南町中学校

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)学校施設の整備 小中学校において、校舎屋根改修工事（小学校１校)、屋内運動場屋上防水改修工事（小学校１校)、ボイラー改修工事（小学校１校）のほか、個別改修を行いました。また、旧大空小学校の解体工事（２期)、南町中学校長寿命化改修の実施設計、市内全小学校・義務教育学校のエアコン設置を実施しました。南商業高等学校においては、煙突用断熱材除去、セミナーハウスのボイラー改修、格技場の床等を修繕しました。
	(2)学習環境の整備 学校 ICT ヘルプデスクの活用など、小中義務教育学校に配置した児童生徒の一人一台端末などの維持管理を行いました。 中学校におけるプログラミング教育を効果的に実施するためのアプリケーションを活用し、コンピュータを適切に活用するための思考力や、情報活用能力の向上を図りました。
	(3)学校適正規模確保の推進 「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画」に基づき、学校の小規模化の影響がより顕著に生ずる可能性のある学校を対象に、近隣校との交流授業等を実施しました。また、保護者と地域住民への説明会及び意見交換会を実施し、後期計画原案を策定しました。
課題及び 今後の方向性	(1)学校施設の整備 「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ継続的な修繕を行い、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善に取り組みます。
	(2)学習環境の整備 小中義務教育学校においては、児童生徒が主体的に学び、自ら問題を発見し解決できる力の育成を図るため、学校生活等における一人一台端末の活用範囲の拡大を進めます。 また、南商業高等学校においては、簿記、情報処理等の商業に関する専門教育の実施や高度な資格取得のため、情報機器等の維持管理を行います。
	(3)学校適正規模確保の推進 児童生徒数及び学級数を毎年度推計し、結果について市民へ情報提供します。また、小中学校適正規模の確保については、学校の小規模化による影響の緩和を図るため、保護者や地域住民への説明と意見聴取を実施しながら、令和７年度中に後期計画を策定します。

（２） 基本目標　　生涯にわたり学び　活躍できる人づくり

基本施策５　自ら学びともに支える生涯学習の推進

個別施策	**５－１５ 学習活動の促進**
めざす姿	誰もが生涯にわたり、目的やライフステージに応じた学びを続けています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況

指標名	講座の満足度（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
－	95.5	96.9	93.5	90.8	94.0	87.2	100.0

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して6.8ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。多様な講座を開設するなかで、専門的かつ複雑性を持つ講座において、受講者の習熟度により評価が分かれるものが多かったことが要因と考えられます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ **帯広市民大学講座の実施**

市民が生涯にわたって学習する機会を提供することを目的とした「帯広市民大学講座」では、十勝・帯広の歴史や自然、食などの地域にまつわる講座や、豊かな暮らしづくりに役立つ講座、趣味・教養に関する講座など、様々なジャンルの講座を開講しました。

令和６年度は空き家の相続に関する講座や参加型の科学実験講座など新しい分野の講座も実施し、年間で４９講座を実施し、参加人数は1,646人となりました。

市民大学講座「ご自宅が空き家になった際の活用・相続について」の様子

◆ **飼育体験・教育講座の実施**

飼育員の仕事を体験する「１日飼育係」や、ワークシートを使って動物の生態について学ぶ「おびZoo寺子屋」などの教育・体験講座を継続的に行っており、飼育員のガイドつきで園内の動物を観察する「おびZoo探検隊」は定員数を増やして実施しました。

飼育員が動物への給餌を行いながら説明する「モグっとガイド」を導入し、学習機会の充実を図りました。

１日飼育係の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)学習機会や情報の提供 市民大学講座では、49 講座開催し、延べ 1,646 人の参加がありました。また、生涯学習情報誌「まなびや」及び小学生向けの「まなびや特別号」の発行を行い、生涯学習活動やイベントの情報提供を行いました。 図書館では、社会教育施設と連携し、子ども向け講演会やプラネタリウムおはなし会を開催しました。 百年記念館では、調査・研究を活かした、博物館講座や郷土学習見学会を開催しました。 動物園では、SNS を活用して積極的に情報発信を行ったほか、飼育体験やおび Zoo 探検隊などの講座等を実施しました。
課題及び 今後の方向性	(1)学習機会や情報の提供 市民大学講座については、市民ニーズを踏まえた講座テーマの設定、オンライン配信や開催時間の工夫、わかりやすい情報発信などにより、市民が参加しやすい学習機会を提供するほか、生涯学習情報誌「まなびや」により、情報発信を行います。 図書館においては、社会教育施設に限らず他機関との連携の輪を広げ、幅広い分野に拡大し、厚みのある事業に取り組みます。 百年記念館においては、博物館関係機関・大学等との連携を図りながら効果的な講座の開催、展示の企画に取り組みます。 動物園においては、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実を進めます。

個別施策	**5－16 学習を通じたまちづくり**
めざす姿	学習を通じて身に付けた知識や経験をまちづくりなどに生かしています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館、動物園

成果指標の状況

指標名	学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
－	26.3	21.5	25.4	26.2	28.5	28.7	31.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して0.2 ポイント増加し、目標値に向けて進捗しています。ニーズやトレンドを的確に捉え、講座内容を見直したことで、市民の活動意欲の増進に寄与したことによるものと考えられます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ **「語り手育成講習会」の開催**

図書館では、平成 14 年度より、学校や地域で読み聞かせの読み手として活動したい人を、読書ボランティアとして育成することを目的に「語り手育成講習会」を開催しています。

令和６年度は、入門編・ステップアップ編に加え、将来的に読書ボランティアとなっていただけるような人材の働きかけも目的とした plus 編を２回開催し、初心者からベテランまで活用できる技術を学びました。

語り手育成講習会（入門編）の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)自主的な学習活動の支援 図書館では、読み聞かせの技術向上のための「語り手育成講習会」を開催したほか、読み聞かせや朗読ボランティアと共催で事業を実施し、活動機会の提供をするとともに、関係団体と協働し市民への読書活動の推進に取り組みました。 百年記念館では、博物館ボランティアを対象に資料整理に関する研修会を開催したほか、当該ボランティアが、博物館における活動によって得た知識や経験をもとに、中心となって参画する出前のレコードコンサートを企画・開催しました。 動物園では、学生ボランティアとの連携を図り、来園者と動物とのふれあいのサポート等、活動の場を提供しました。 生涯学習推進委員会では、各地区ごとに多様な「コミュニティ講座」を開催し、地域の生涯学習活動の関心や意欲の向上、地域住民間の交流機会の活性化に取り組みました。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度のもと、教養・文化・スポーツ等の様々な分野において個々の能力を発揮して活躍する人物を指導者として登録したほか、地域における生涯学習活動の支援のために情報を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)自主的な学習活動の支援 図書館においては、ボランティアと情報交換を図りながら、知識技術の向上や活動に対する相談やアドバイスを行い、相互連携を進めるとともに、活動を支援します。 百年記念館においては、資料整理などボランティアと連携した博物館活動を進めるほか、知識向上のために研修会等、学習機会の確保を進め、学習で得た知識や活かした新たな活動の場を提供します。 動物園においては、今後も学生等の活動主体が積極的に活動できるよう支援します。 地域の生涯学習活動においては、生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で実施する様々な活動の支援に取り組みます。
	(2)地域の人材の育成・活用 生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用を図るため、市ホームページやSNS を効果的に活用しながら情報発信の強化を図り、登録者数の確保に取り組みます。

個別施策	**5－１７ 社会教育施設の整備・管理運営**
めざす姿	社会教育施設が積極的に活用され、多様な学習活動が行われています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、児童会館、百年記念館、動物園

成果指標の状況

指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	96.5	97.3	92.3	91.0	94.1	92.3	100

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して1.8ポイント減少しておりますが、高水準を維持しています。引き続きソフト事業の充実など、新たな魅力づくりを進めていく必要があります。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ **児童会館における展示の拡充・バルコニー遊び場の開設**

児童会館では、開館６０周年記念事業に伴い、科学展示室の展示品導入のほか、バルコニー遊び場の開設を行いました。

また、施設の老朽化対策として照明器具のLED化やトイレ洋式化修繕を行いました。

バルコニー遊び場（１階）
「こもれびぱーく」

◆ **キリン館・屋内休憩施設の整備**

「おびひろ動物園の魅力アップ（方針）」に基づき、屋内展示室や、２階の高さから外放飼場のキリンを観察できる屋外観覧通路など、展示の充実につながる設備を有する新たなキリン舎（キリン館）を整備しました。

また、乳幼児とその保護者などが楽しく安心して過ごせる、キッズコーナーや授乳室、おむつ替えスペース等を備えた屋内休憩施設の整備に向け、実施設計を行いました。

令和６年８月に完成したキリン館

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 とかちプラザでは、外壁改修工事、空調機中央監視装置更新に係る工事、消防用設備修繕等を実施しました。 図書館では、照明制御設備の更新、無停電電源装置の蓄電池交換等を実施しました。 百年記念館では、外壁パネル修繕等を実施しました。 児童会館では、蛍光管照明のＬＥＤ化、トイレ洋式化修繕を実施しました。 動物園では、「おびひろ動物園の魅力アップ（方針）」に基づき、キリン館を整備したほか、東エリア屋内休憩施設の整備に向けた実施設計を行いました。
	(2)適切な管理運営の推進 とかちプラザでは、親子向けの夏まつりイベントや学習成果発表の場となるプラザまつりなど、多くの事業を実施し、幅広い年齢層の方へ学習機会を提供しました。 図書館では、各種講座等において使用する多目的視聴覚室のプロジェクターを修繕し、安定稼働を図りました。 児童会館では、開館６０周年記念事業を実施するとともに、各種イベントを通じて学習機会の提供を行いました。 百年記念館では、利用者アンケートを実施し、ニーズを踏まえた多様な学習機会を提供しました。 動物園では、一日飼育係やおびZoo探検隊等の講座を実施し、飼育体験等の学習機会を提供しました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 多くの社会教育施設では、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化等を通じて、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 とかちプラザにおいては、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組みます。 図書館においては、適切な管理運営と図書館サービスの向上に取り組みます。 児童会館においては、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催するほか、学びと遊びの機能の充実に取り組みます。 百年記念館においては、アンケートを用いて利用者ニーズを確認し、地域の社会動向や課題を踏まえた多様な学習機会を提供するとともに、効果的かつ効率的に管理運営を進めます。 動物園においては、動物展示や来園者の利便性の向上に向けた施設整備、飼育体験等の学習機会の充実に取り組みます。

基本施策６　人が輝く文化芸術活動の推進

個別施策	**６−１８ 文化芸術の「つくる・みる・ささえる」人の協働**
めざす姿	文化芸術活動を通じて、心の豊かさや生きがい、人とのつながりが生まれています。
施策担当課	生涯学習文化課、図書館、百年記念館

成果指標の状況

指標名	直近１年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
−	64.7	45.1	43.4	51.1	56.1	53.2	65.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

R5 と比較して 2.9 ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。テレビやインターネット等による自宅での鑑賞活動が行えることや文化芸術に対する関心をもつ環境やきっかけが少ないこと等が要因と考えます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ 第７回帯広市民オペラの開催

文化団体等が行う自主的な活動を支援し、市民の主体的な文化芸術活動を促進する取り組みを行っています。

令和６年度は、ソリストをはじめとする出演者、オーケストラのほか、企画、運営、公演に多くの文化団体・市民が参画し、第７回帯広市民オペラ「アイーダ」が開催されました。

多くの市民によって創り上げられた公演を、２日間の上演で、1,757 人の方に鑑賞いただきました。

第７回帯広市民オペラ

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)市民文化芸術活動の促進 市民主体の文化芸術活動を支援するため、日頃の活動成果を発表する「市民芸術祭」や、地元在住の若手芸術家にスポットを当てた展覧会「北の構図展」を開催しました。 また、積極的に創作活動に励む子どもたちが、将来「市民文藝」への応募に続くよう、とかちジュニア文芸第１５号を発刊しました。このほか、市民の文化芸術活動を支援するため、学校施設の開放事業を行いました。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 市民が芸術文化活動に参加しやすい環境やきっかけづくりのため、ホームページ等を活用し、文化団体の情報提供を行いました。また、文化活動を行う人材・団体の育成のため、文化賞、文化奨励賞、文化活動功労賞に、優秀な文化芸術活動を行う２個人・１団体を表彰したほか、文化活動への支援として事業補助・大会派遣補助を行いました。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 さまざまなジャンルの鑑賞事業を実施することで、市民に良質な文化芸術鑑賞機会を提供しました。また、北海道立帯広美術館の特別企画展「写真展　星野道夫　悠久の時を旅する」に参画し、市民が身近に芸術・文化に親しめる環境づくりに取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)市民文化芸術活動の促進 市民の主体的な文化芸術活動を促進するため、市民に発表の機会や交流の場を提供する事業を継続するほか、子どもたちの創作意欲をさらに高め、読解力・表現力の向上を図るため、「とかちジュニア文芸文章教室」を開催します。そのほか、市民の文化芸術活動を支援するため、今後も学校施設の開放事業を行います。
	(2)文化活動団体の活動支援・指導者育成 文化活動促進のツールのひとつとして文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行います。
	(3)文化芸術の鑑賞機会の提供 市民の文化芸術への関心を高めるため、鑑賞者アンケート等を踏まえた事業を実施し、市民が良質な文化芸術を直接鑑賞する機会の提供に取り組みます。また、市民が身近に芸術・文化に親しめる機会を提供するため、北海道立帯広美術館の特別企画展へ参画します。

個別施策	**６－１９ 文化資源の継承・活用**
めざす姿	歴史、伝統、文化への理解を通じて、ふるさとへの誇りと愛着を持っています。
施策担当課	百年記念館

成果指標の状況

指標名	市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数（件）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
－	2,161	1,728	1,638	2,021	1,852	2,377	2,269 以上

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して525 件増加しており、目標値を達成しました。東京大学によるハ千代Ｃ遺跡の調査で文化財への注目が集まったためと考えられます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ **文化財の保存・活用**

十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、及び史跡標示板の修繕を行ったほか、文化財を活用する事業として、ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車４号及び客車コハ23 号の公開を行いました。

令和６年度は、ぶらり帯広・文化財めぐりに 16 人が参加、十勝鉄道蒸気機関車４号及び客車コハ23 号公開には 175 人が来場し、市民に広く文化財を公開する機会となりました。

ぶらり帯広・文化財めぐりの様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)文化財等の調査・保存・活用 十勝鉄道蒸気機関車・客車の保守点検委託等による文化財の管理、及び史跡標示板の内容の更新や修繕を行いました。また、埋蔵文化財センターを中心に開発行為と埋蔵文化財保護の調整を行ったほか、動物園園路更新事業に伴い、落合遺跡の発掘調査を実施しました。文化財を活用する事業としては、ぶらり帯広・文化財めぐり及び十勝鉄道蒸気機関車４号及び客車コハ23号の公開を行いました。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 「帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金」により活動の補助を行ったほか、伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や体験講座等の講座を実施しました。
	(3)市史資料収集・保存 令和5年度の出来事をまとめた「年史報告書」を作成しました。また、古文書の連続講座や博物館講座などで、収集事業資料を公開しました。
課題及び 今後の方向性	(1)文化財等の調査・保存・活用 今後も文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の内容の更新や修繕を行います。また、文化財を活用する事業を継続して実施するほか、「ハ千代Ａ遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、修理・美装化に取り組みます。
	(2)アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及 帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助を継続し、アイヌ伝統文化の保存・伝承団体への支援に取り組みます。
	(3)市史資料収集・保存 「年史報告書」を作成に取り組むとともに、令和14年度に迎える帯広市開拓150年・市制施行100年を見据えて、関係課と情報・課題を共有しながら資料収集事業に取り組みます。

個別施策	**6－２０ 文化施設の整備・管理運営**
めざす姿	市民が文化施設に魅力を感じ、積極的に活用しています。
施策担当課	生涯学習文化課、百年記念館

成果指標の状況

指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値【H26～H30 平均】	実績値					目標値（R11）
		R2	R3	R4	R5	R6	
－	83.0	84.3	87.6	97.0	97.0	97.0	88.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

R５と同じ水準で、目標値を達成しています。計画的な修繕や利用者の声を反映し、施設サービスの改善を進めたことなどが評価されたものと考えます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ 市民文化ホールの改修

市民文化ホールは、市民の文化芸術活動の発表や鑑賞の拠点施設として、多くの市民に利用されており、施設の特性を踏まえながら、安全性や緊急性を考慮し、長寿命化等に向けた計画的かつ効率的な修繕・更新を進めていく必要があります。

令和６年度は、安全性確保のため、大ホールの絞り緞帳撤去及び引割幕開閉ランナーを更新したほか、大ホールの照明操作に必要不可欠な調光操作卓の更新を実施し、施設の機能維持を目的とした施設整備を進めました。

更新後の市民文化ホール
大ホール調光操作卓

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 　利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、市民文化ホールの絞り緞帳撤去及び引割幕開閉ランナー更新、大ホール調光操作卓の更新を実施しました。
	(2)適切な管理運営の推進 　市民文化ホールでは、計画的な施設整備を着実に進めたほか、指定管理者により、貸館時間を利用者の要望に応じて柔軟に拡大するなど、利用者ニーズを意識した適切な管理運営により、施設利用者から高い満足度が得られています。そのほか、市直営施設では、利用者ニーズを捉え、委託管理により利便性の向上を図りながら、効果的・効率的な管理運営に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 　文化施設においては、大半の施設で供用開始から30年以上が経過し、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、優先順位を勘案しながら、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 　市民文化ホールでは、鑑賞方法が直接鑑賞から映像媒体での鑑賞への変化が推察されることや、市民文化ホール提携駐車場の利用が浸透していないことの影響から、施設利用者が減少しているほか、燃料費や光熱水費等の物価高騰による運営経費の増大が課題となっています。引き続き、指定管理者等と連携しながら、文化芸術活動に親しみやすい環境づくりや市民文化ホール提携駐車場に係る周知等に取り組むほか、施設利用者が利用可能な隣接駐車場の整備を引き続き事業者に働きかけていきます。また、利用状況や物価の動向を注視し、安定的な管理運営に取り組みます。

基本施策７　笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

個別施策	**７－２１　多様なスポーツ活動の促進**
めざす姿	誰もが、「する・みる・ささえる」など多様な形で、スポーツに親しんでいます。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況							
指標名	市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【H27～R1 平均】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
－	21.0	18.1	17.6	16.5	15.1	14.2	22.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して0.9 ポイント減少しており、目標値に向けて進捗していません。指導者不足や、スポーツ種目や習い事の多様化などが要因と考えられます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ スポーツの振興

スポーツの普及・振興に貢献のあった人を顕彰するため、スポーツ賞・スポーツ奨励賞の表彰式を実施し、スポーツ賞において、功労部門１個人、成績部門３個人・２団体、スポーツ奨励賞において、５個人・２団体を表彰しました。

表彰式の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)スポーツの振興 　スポーツ振興及び更なる競技力の向上を図るため、競技大会への選手等の派遣支援等を行いました。また、スポーツの普及・振興に貢献のあった人を顕彰するため、スポーツ賞において、功労部門1個人、成績部門3個人・2団体、スポーツ奨励賞において、5個人・2団体を表彰しました。そのほか、各種全国・全道大会等の誘致や開催支援、合宿・プロスポーツ等の誘致を通して市民への観戦機会を提供しました。
	(2)スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 　スポーツ少年団本部及び競技団体である帯広市スポーツ協会への支援を実施したほか、スポーツ少年団指導者育成の支援を行いました。
	(3)スケート競技の振興 　スピードスケート競技の裾野拡大を目的とした「ほっとドリームプロジェクト」を実施し、競技者育成及び地域応援体制の整備を行ったほか、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放を通して、地域のスポーツ文化であるスケートの普及振興に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)スポーツの振興 　競技大会への選手等の派遣支援を通して、競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興を進めます。
	(2)スポーツ団体の支援・指導者人材の育成 　各団体への支援を通じて指導者の育成を図り、スポーツ少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組みます。
	(3)スケート競技の振興 　スピードスケートをはじめとした地域における各種競技スポーツを普及し、競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催支援を行います。また、スピードスケート教室に対する地域の需要が高いことから、「ほっとドリームプロジェクト」を実施し、明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放などを通して、スケート競技の普及促進に取り組みます。

個別施策	**7－２２ スポーツによる活力のあるまちづくり**
めざす姿	誰もが生涯にわたってスポーツに親しみ、スポーツで集い、まちの賑わいづくりにつながっています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況

指標名	１年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
―	82.4	82.0	90.1	95.9	94.0	94.5	87.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して0.5 ポイント増加し、目標値を達成しています。スポーツイベント・教室等の開催や総合型地域スポーツクラブの支援を実施し、気軽にスポーツに取り組むことができる環境づくりを進めてきたほか、市内における各種国際・全国・全道大会やプロスポーツの試合等の開催などにより、人々のスポーツへの関心が高まったことによるものと考えられます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ スポーツフェスティバル

10 月のスポーツの日を中心に、市民が気軽にスポーツ活動を行うきっかけづくりとして、競技団体による初心者向け講習会・大会の実施や体育施設・学校プールの無料開放を行っています。

令和６年度は、27 種目を実施し、3,024 人の参加がありました。

スポーツフェスティバルの様子

◆ スポーツ大会・合宿誘致事業

域外から本市で開催される大会の合宿に参加した団体に対し、関係機関と連携し、練習場所の確保等の合宿支援を実施しました。

誘致団体による地元中高生対象のスポーツ教室や競技者との交流などを実施しました。

バレーボール教室の様子

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)地域スポーツの振興 　スポーツ推進委員が中心となって実施する各種スポーツ教室を48回開催し、延べ1,220人が参加しました。また、地域住民が自ら企画・運営する9つの総合型地域スポーツクラブの運営支援を行ったほか、スポーツフェスティバルを開催し、27種目3,024人が参加しました。そのほか、市民が身近な場所でスポーツ活動を行うことができるよう、学校施設を開放し、延べ178,863人が利用しました。
	(2)スポーツ大会合宿等誘致 　情報発信や競技団体と連携し、国際・全国・全道大会等の誘致を進めるとともに、開催支援を実施したほか、プロスポーツの誘致に取り組みました。また、フードバレーとかちマラソン大会は、5,463人がエントリーしました。
課題及び 今後の方向性	(1)地域スポーツの振興 　総合型地域スポーツクラブの支援やスポーツ教室、大会の開催などを通じて、市民が気軽にスポーツに親しむ機会づくりに取り組みます。学校施設のスポーツ開放については、市民へのスポーツ活動の場を提供するため、利用しやすい環境づくりと情報発信を行います。
	(2)スポーツ大会合宿等誘致 　スポーツ合宿の誘致については、各競技団体と連携を図り、支援体制等ニーズを把握しながら受入体制の整備を進めます。

個別施策	**7－２３ スポーツ施設の整備・管理運営**
めざす姿	スポーツ大会の開催をはじめ健康増進や仲間づくりなど、多くの人がスポーツ施設を活用しています。
施策担当課	スポーツ課

成果指標の状況

指標名	施設利用者の満足度（%）						
区分	基準値	実績値					目標値
	【R1】	R2	R3	R4	R5	R6	（R11）
－	77.3	82.7	80.4	93.9	96.8	97.1	82.0 以上

＜成果指標の達成状況＞

R5と比較して0.3ポイント増加し、目標値を達成しています。実績値の基としているアンケートの回答項目の「施設内の雰囲気の良さ」と「運動用具・器具の数量の充実さ」について、いずれもR5より割合が増加しており、施設の適切な管理運営が行われたことが、利用者の満足度に繋がったものと考えられます。

令和６年度の主な取り組みの内容

◆ **帯広の森市民プールの改修**

プールサイドの床面が経年劣化により剥がれてきている状況を改善するため、３期に分けて段階的にプールサイド床面を更新し、令和６年度に全ての工事が完了しました。

プールサイド床面の工事

点検及び評価の結果	
項　目	内　　容
取り組みの成果	(1)計画的な施設整備の実施 利用者の安全性を確保するとともに施設の機能を発揮するため、帯広の森市民プール可動床装置部品交換修繕、帯広の森運動施設変圧器・コンデンサ交換修繕、アイスアリーナ・スポーツセンターアイスホッケーライン・ポイント修繕、帯広の森体育館テニスコート用センター金具修繕、帯広の森運動施設高圧ケーブル等交換工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事（3期)、帯広の森体育館駐車場外灯改修工事を実施しました。
	(2)適切な管理運営の推進 スポーツ施設においては、多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、民間活力を生かした指定管理者制度やPFIによる事業方式を導入しています。また、パークゴルフ場においては、指定管理者制度に加え、地域住民や団体の協力を得ながら市民協働による管理運営に取り組みました。
課題及び 今後の方向性	(1)計画的な施設整備の実施 スポーツ施設の多くが供用開始から30年以上経過し、施設本体や設備、備品の老朽化が進んでいることから、施設の老朽度や利用実態、維持管理コスト等を踏まえ、「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組みます。
	(2)適切な管理運営の推進 多様化する利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、指定管理者制度やPFIによる事業方式及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組みます。

４　教育に関する学識経験者の意見

認定こども園つつじが丘幼稚園　園長　杉本　伸子

（帯広市立明星小学校　元校長）

帯広市教育基本計画（令和２年度～令和１１年度）の５年目である令和６年度の取り組みについては、世界及び国内の情勢が混沌とした時代にありながらも、帯広の子どもの育つ姿を見据えた施策が着実に推進されています。点検・評価は、適切・的確であると判断致します。

基本施策１　帯広の明日を拓く力の育成「１　ふるさと教育の推進」では、郷土への愛着や誇りを育むための「おびひろ市民学」の充実が図られています。また、「２　職業観の育成」では、地元企業と連携した授業やおびひろスクールコラボを推進し、子どもたちに将来についての展望が持てる教育を進めている点が数値の向上に繋がっていると考えます。

少子化により働き手の供給が制約される時代がきています。子どもたち自身が働き手となる時代は、より一層大きな変化が訪れることが予想されます。そんな時代を生き抜く子どもたちの心のよりどころとして、ふるさとへの愛着や大切に思う心の育成が必要です。今後もより一層、地域社会の一員として地域を愛する心を育てる教育が２つの施策の連携の中で継続されることを期待します。

基本施策２　変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成「９　教員の資質・能力の向上」では、学力向上推進プロジェクトチームによる授業改善やおびＧＩＧＡ支援員によるＧＩＧＡスクールが推進されています。また、同時に教職員の働き方改革推進プラン（第３期）に基づき、校務の効率化や学校行事の見直しを帯広市として進めている点を高く評価します。

子どもを育む最前線にいる教職員の職能を高めることと、常にアップデートしていくことは大変重要です。しかし、そのことが、教職員一人ひとりの働き方に過重な負担となるようでは、より良い教育を推進し続けることができません。帯広市全体として、その両面を考えた施策を推進されている点が評価できると考えます。今後も細やかな配慮のある施策の推進を期待します。

基本施策４　安全・安心な教育環境の整備「１３　誰もが安心して学べる教育の推進」では、多様化する児童生徒の特性や、家庭の状況に対応すべく、様々な取り組みが行われています。年々、教育相談のニーズが高まっている中で、その体制の充実に向けては課題が多いことと思います。しかし、市内校に通級指導教室が開設されるなど、多様な特別支援の状況に対応して進んでいる点が評価できると考えます。基本施策３の「１１家庭教育への支援」には、基本的な生活習慣確立に向けた記録シートの配布が記されていました。家庭と学校との連携の中で家庭を支える取り組みを今後も展開していくことを期待しています。

近年、北海道も温暖化の影響を受け、夏場の猛暑や記録的な大雪など、極端な気象現象が顕著になってきました。エアコンの設置や施設改修等、ハード面の整備が求められる中、帯広市は計画的に着手し、教育環境を整備しています。教育基本計画の折り返しとなった令和６年度は、個々の施策が、帯広市の子どもたちを育む大切な柱として計画的に執行され、適切に評価されています。市民一体となった教育の更なる発展を期待いたします。

帯広市社会教育委員　副委員長　　久 保 田　博 己

帯広市教育基本計画（令和２年度～令和 11 年度）の５年目にあたる令和６年度の取り組みについては、コロナウイルス感染症の５類移行を受け、感染症対策に配慮しつつも、より数多くの活動、対応が行われて、多くの項目で目標値に向けて進捗しており、適切であると判断いたします。

「帯広の明日を拓く力の育成」では、地域の中の全員が地域社会に参画する意識を高めるため、今後も、各種団体、町内会等との連携を強化し、リーダー養成事業の充実を図るとともに、地域の親子参加防災講座を通じて、地域でのボランティア活動、防災活動、地域の中での自分の役割などを含め参画意識の向上を図っていくことを期待します。

「変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成」では、豊かな情操を培うため、一人一台端末や「ぶっくーる便」の活用を継続し、読書に親しむ取り組みの更なる充実を進めていくことが大切と考えます。また、メタバース空間「ひろびろチョイス」などの活用を進め、オンライン等を活用した学びの補完に継続して取り組んでいくことを期待します。さらに、朝食を毎日取ることを習慣化するように働きかけるなどの基本的な生活習慣の確立に向けた意識の醸成にあたっては、地域人材を巻き込んでの活動等が一層増えることを期待します。

「地域とともに育む教育の推進」では、コミュニテイ・スクールを中心として地域と学校が一体となった見守り活動、子どもの居場所づくり事業の一層の充実が必要と考えます。ボランティア登録者の拡充を図るため、実施内容、時間帯などの工夫をはじめ、PR 活動を積極的に進めていただき、各校 PTA や帯広市 PTA 連合会等ときめ細かな情報共有を図ることで関係団体との緊密な関係づくりに継続して取り組まれることを期待します。

「安全・安心な教育環境の整備」では、複雑化、多様化する児童生徒の抱える課題に対して、家庭・地域・学校が一体となり、状況に応じ、柔軟に対応する姿勢が重要であることから、今後も、連携強化に取り組まれ、必要な支援が行き届くような配慮に努めていただくことに期待します。また、不登校児童生徒への適切な対応のため、スクールカウンセラーの活用や、別教室登校などのほか、一人一台端末を活用し、学びの機会を失わせないような対応を家庭・学校・地域と協力して進める必要があると考えます。さらに、小学校入学、中学校入学時のギャップを無くすため、幼保と小学校との連携、小学校と中学校との交流を図るなど、つながりのある学びの機会の構築が一層進んでいくことに期待します。

「自ら学びともに支える生涯学習の推進」では、市内の社会教育施設等の有効活用をさらに進めるため、時代に即した学習内容の検討をはじめ、全年代を通じての学習機会の提供に一層取り組んで頂きたいと考えます。例えば、図書館では、朗読ボランティアなど図書館ボランティアとのイベントの充実を進めていただくほか、動物園、百年記念館においても、ボランティア人員の確保が図られ、活動の充実につながることに期待します。また、各施設の老朽化に対しては、修繕・更新など、適切な時期に適切な対応がなされ、長期的な使用の中でも利用者の利便性や満足度が持続されるよう取り組みを進められることを期待します。

帯広市教育基本計画（令和 2 年度～11 年度）の折り返しとなった令和6年度ですが、個々の施策については、目標の達成に向け着実に取り組みを進められているものと評価いたします。施策目標の達成に至っていない項目については、家庭・地域・行政が、ともに知恵を出し合い目標に少しでも近づけるよう、引き続き努力し続けることを期待します。

参　考　資　料

資 料 1

○ 令和6年度教育行政執行方針（抜粋）

１．基本的な考え方

帯広市教育委員会では、帯広市教育基本計画で掲げる基本理念「ふるさとの風土に学び人がきらめき　人がつながる　おびひろの教育」に基づく施策を推進してまいります。

学校教育においては、多様な教育的ニーズに対応した学習機会を提供するとともに、子どもたちが安心して学べる学習環境・教育環境の整備を進めていくほか、９年間の義務教育期間を通して、「個別最適な学び」と「協働的な学び」の実現を目指した取り組みを進めてまいります。

生涯学習においては、市民個々の学びの欲求に応じ、多様で魅力ある学びの場を提供するほか、学びにより習得した知識や経験を地域で生かすことが出来るよう、市民の主体的な活動の支援に引き続き取り組んでまいります。

２．主な取り組み

（１）　夢の実現に向けて自立し　互いに支え合う人づくり

学校教育については、小中一貫教育の推進を図り、義務教育９年間の連続性・系統性に配慮した教育に取り組むほか、コミュニティ・スクールの活動を推進し、地域全体で子どもの学びや成長・発達を支えてまいります。

併せて、地域住民や地元企業、大学、ＮＰＯ法人などとの協働により、社会に開かれた教育課程の実現、並びに帯広の未来を見据えた人づくりと地域づくりを進めてまいります。

また、教育デジタルトランスフォーメーション（ＤＸ）を推進し、多彩な授業づくりを進めるほか、不登校児童生徒への支援を充実してまいります。

教職員の負担軽減に向けては、第３期の働き方改革推進プランを策定し、校務支援システムの活用などの取り組みを進めてまいります。

施設整備については、小学校や義務教育学校の普通教室等へエアコンを設置するほか、小中学校の体育館照明のＬＥＤ化を進めてまいります。

また、引き続き、老朽化への対応等を進め、安全・安心な教育環境づくりに努めるほか、帯広市学校施設長寿命化計画に基づく南町中学校の長寿命化改修に向けた実施設計を行ってまいります。

学校給食については、新たなメニューの開発を進めるほか、食に関わる人たちの想いを発信し、食べることの楽しさや食への理解を促進するとともに、生産者等への感謝の気持ちを育んでまいります。

青少年の健全育成については、地域ぐるみで子どもたちを育てる取り組みを進めるほか、青少年センターにおいて街頭指導を行うとともに、関係機関・団体と協力し、青少年の非

行防止活動に取り組んでまいります。
　帯広南商業高等学校については、時代や社会ニーズに応じた実践力を身に付けられるよう、適時・適切な教育・指導に取り組み、学校教育目標の「社会に貢献する産業人の育成」を着実に推進してまいります。

（２）　生涯にわたり学び　活躍できる人づくり

　生涯学習の推進については、開館 60 周年を迎える児童会館において、記念イベントを行うほか、科学展示室や遊び場などの施設整備を進めてまいります。
　また、おびひろ動物園においては、令和６年８月に完成予定の新キリン舎等を活用し、動物たちがいきいきと暮らせる環境づくりと展示の充実を図るとともに、豊かな情操を育む教育の場を提供してまいります。
　文化芸術活動の推進については、市民芸術祭や帯広市民オペラの会と連携した事業など、市民主体の文化芸術活動への支援や、市民ニーズを反映した魅力ある事業を実施してまいります。
　スポーツ活動の推進については、フードバレーとかちマラソンや帯広市スポーツフェスティバルなどのイベント開催を通じて、市民が気軽にスポーツや健康づくりに親しむ機会を提供してまいります。
　社会教育、文化、スポーツ施設については、安全・安心に利用できるよう、計画的な施設の改修・長寿命化に取り組んでまいります。

資 料 2

○　令和６年度予算決算

（単位：円）

科　　目	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	主な内容
教育費	10,805,700,468	9,071,385,607	975,081,000	759,233,861	
教育総務費	606,318,000	569,010,615	0	37,307,385	
教育委員会費	4,842,000	4,813,490	0	28,510	教育委員報酬及び会議等の出席に係る旅費等
事務局費	497,741,000	473,867,863	0	23,873,137	事務局運営費、教職員管理費、奨学金貸付事業、学生支援給付金事業等
地域連携費	26,688,000	21,727,800	0	4,960,200	学校運営協議会運営費、子どもの居場所づくり事業費、こども学校応援地域事業費等
指導研修費	37,392,000	31,956,324	0	5,435,676	教育相談員･外国人講師に係る報酬、いじめ・不登校・非行対策事業費等
教育研究所費	14,865,000	14,308,242	0	556,758	所員報酬、教育研究所運営費等
教職員住宅費	24,790,000	22,336,896	0	2,453,104	教職員住宅の修理費、教職員住宅の建設工事費等
小学校費	3,662,525,600	3,153,224,619	0	509,300,981	
学校管理費	840,695,000	767,753,368	0	72,941,632	小学校管理費、プール管理費、リンク造成・維持管理費、学校保健事業費、スクールバス運行事業費等
学校営繕費	46,193,000	45,651,964	0	541,036	学校営繕費
教育振興費	341,285,000	326,128,013	0	15,156,987	教材教具購入費、就学援助費、学校図書資料整備費、教育環境デジタル化推進費等
施設整備費	2,434,352,600	2,013,691,274	0	420,661,326	学校･学習環境整備費、リニューアル改修事業費、学校施設空調整備事業費
中学校費	2,002,970,400	921,185,181	975,081,000	106,704,219	
学校管理費	373,159,000	345,469,706	0	27,689,294	中学校管理費、プール管理費、リンク造成・維持管理費、学校保健事業費、スクールバス運行事業費等
学校営繕費	36,057,000	17,132,122	18,700,000	224,878	学校営繕費
教育振興費	220,104,000	209,845,528	0	10,258,472	教材教具購入費、就学援助費、学校図書資料整備費、教育環境デジタル化推進費等
施設整備費	1,373,650,400	348,737,825	956,381,000	68,531,575	学校･学習環境整備費、リニューアル改修事業費、大空地区義務教育学校整備費、南町中学校整備費
高等学校費	173,560,000	156,929,721	0	16,630,279	
学校管理費	67,174,000	56,370,245	0	10,803,755	南商管理費、学校保健事業費、国際理解教育推進事業費等
学校営繕費	11,648,000	11,564,894	0	83,106	南商営繕費
教育振興費	21,508,000	20,827,582	0	680,418	教材教具購入費、学習環境管理費、キャリア教育推進費
施設整備費	73,230,000	68,167,000	0	5,063,000	学校環境整備費

科　　目	予算現額	決算額	翌年度繰越額	不用額	主な内容
社会教育費	1,610,141,468	1,569,386,679	0	40,754,789	
社会教育総務費	10,831,000	8,562,350	0	2,268,650	社会教育委員等報酬、講座開催経費等
文化振興費	22,527,000	21,989,281	0	537,719	文化団体等補助金、事業開催負担金、文化財経費等
とかちプラザ費	320,051,000	316,821,271	0	3,229,729	とかちプラザ管理費、施設修繕等
市民文化ホール費	241,040,024	235,493,897	0	5,546,127	市民文化ホール管理運営費、施設修繕等
百年記念館費	65,933,000	61,183,730	0	4,749,270	百年記念館管理運営費、施設修繕等
図書館費	171,520,000	163,197,509	0	8,322,491	図書館管理運営費、図書資料等整備費、図書館資料デジタル化事業費等
児童会館費	75,585,000	73,706,019	0	1,878,981	児童会館管理運営費、野草園管理運営費、行事・実習関連経費等
農業体験実習館費	11,000,000	10,997,910	0	2,090	農業体験実習館費
動物園費	660,211,444	647,222,714	0	12,988,730	動物園管理運営費、遊具管理費、施設修繕等
市民ギャラリー費	31,443,000	30,211,998	0	1,231,002	市民ギャラリー管理費
保健体育費	2,750,185,000	2,701,648,792	0	48,536,208	
保健体育総務費	79,350,000	72,107,328	0	7,242,672	スポーツ行事･活動関係経費、団体育成･大会開催費、学校開放経費、指導者育成経費等
体育施設費	1,615,591,000	1,594,975,058	0	20,615,942	社会体育施設管理運営費、施設修繕･改修費等
学校給食センター費	1,055,244,000	1,034,566,406	0	20,677,594	学校給食センター管理費、賄材料費、委託料、学校給食食育推進費等

※翌年度繰越額は、繰越明許費

資 料 ３

○　令和６年度における主な取り組み一覧

（１）　帯広の明日を拓く力の育成

①　ふるさと教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
地域資源を活用したふるさと理解の促進	「おびひろ市民学」の実施とプログラムの充実、郷土体験学習（小学４年生対象）、スクールコラボの実施、児童会館科学展示室（入場者　36,686人）、埋蔵文化財センターの活動、アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の活動、小学生のための動物園塾（1回、12人）、おびＺｏｏ寺子屋（5回、86人）、ほっとドリームプロジェクト（延べ2,283人参加）
食を通じたふるさと理解の促進	「ふるさと給食」の実施、生産者等との交流機会の提供、ふるさと農園の実施（啓北小・光南小・清川小）、「おびひろ市民学」による「帯広らしい食育プログラム」の実施
地域社会に参画する意識の醸成	地域子ども会リーダー宿泊研修会（162人）、ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」（16人）、ジュニアリーダー“あるふあ”の会（21人）、社会科及び総合的な学習の時間を活用した調べ学習、防災教室の実施（全小中義務教育学校）
環境教育の推進	帯広らしい環境教育プログラム集のホームページへの掲載、児童会館科学展示室（入場者　36,686 人）、児童会館での科学教室・工作教室等（89,539人）、自然観察会（9人）、自然系出前講座（13回）

②　職業観の育成

主な取り組み	内訳・実績
学校におけるキャリア教育の推進	外部講師を活用した授業、オンライン工場見学、インターネットを活用した調べ学習
職業体験機会の充実	おびひろｷｯｽﾞ ﾀｳﾝ2024（２６７人）、小学生の１日飼育係(2回、15人)、１日飼育係（5回、16人）、親子で飼育体験（3回、22人）、学校での講話、職業調べに対する協力、なりきり図書館員（1回、13人）

③　情報教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
情報活用能力の育成	研修講座における教職員向け研修
情報モラルの育成	帯広市ネット非行対策講演会、携帯電話販売店の立入調査(26 店)、各校で外部講師等を活用した情報教室の開催
プログラミング教育の推進	発達の段階に応じたプログラミング体験

④　国際理解教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	外国語指導講師（ALT）を全小中義務教育学校に派遣
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	国際交流員や JICA 職員の学校訪問

⑤　南商業高等学校における教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
商業教育の充実	外国人英語指導助手配置（1 人）、マディソン市派遣（5 人）
地域経済に貢献する人材の育成	マナー講習会の開催、就職・進学内定率 100%を達成
地域社会との連携・協働による教育の推進	学校運営協議会の開催
地域とつながる活動の推進	ボランティア活動、学校ホームページによる情報発信

（２）　変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

⑥　学びを生かす力の育成

主な取り組み	内訳・実績
学校における授業の工夫・改善	「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した授業、ＩＣＴを活用した授業
学習活動の支援	長期休業期間や放課後の時間を活用して学習会を開催、ウェブサイト「帯広市教育研究所 GIGA サポ」作成（１人１台端末の使い方及び授業実践について）、ぶっくーる便(1,116 件・39,060 冊)
教育課程の工夫・改善	教育課程編成の手引きの作成、小中学校における一貫性のある教育課程、標準学力調査、研究紀要「帯広の子どもの学力」発行
学力の分析・検証	特筆項目なし
体験的・問題解決的学習の推進	観察・実験などの体験学習の推進、帯広畜産大学との連携事業（1 回、21 人）、児童会館での宿泊学習等（3,028 人）、プラネタリウム上映（入場者　14,124 人）

⑦　豊かな人間性と創造性の育成

主な取り組み	内訳・実績
道徳教育の充実	学校指導訪問での指導・助言、公開研究会の実施
読書活動の推進	学校図書館の図書資料の整備（7,043 冊）、司書教諭の配置（30 校、30 人）、学校図書運営委員会への補助（39 者）、図書ボランティアとの連携、おはなし会（73 回、1,799 人）、キミヘノチカラシリーズブックリスト発行（1 回）
文化芸術活動の推進	文化系大会派遣支援事業（吹奏楽 2 校、合唱 1 校）全道大会派遣補助の実施、芸術鑑賞事業の取組、幼児向けプチコンサート（100 人）、第 35 回親と子のわくわく音楽会（683 人）、帯広市小中学生のための札響コンサート（1,370 人）、親子で楽しむ人形劇公演（102 人）
体験活動の推進	乗り物利用学習等の体験活動の実施、児童会館科学展示室（入場者 36,686 人）、児童会館での体験活動（科学教室・工作教室等 89,539 人、文化関連事業 8,529 人）、野草園の利用者（17,080 人）、体験教室（68 人）、夏休み親子陶芸教室（3回、108 人）、冬休み親子陶芸教室（3 回、109 人）、親子ものづくり教室（2 回、38 人）、小学生の１日飼育係（2 回、15 人）、１日飼育係（5 回、16 人）、親子で飼育体験（3 回、22 人）、ふれあい教室・ぬくもり体験（79 組、2,127 人）

⑧　健やかな体の育成

主な取り組み	内訳・実績
体力・運動能力の向上	体育系大会派遣支援事業（全道 265 人、全国 47 人）各大会派遣補助の実施、全国体力・運動能力、運動習慣等の調査・分析、帯広市体力・運動能力の調査分析、スポーツ少年団本部への支援（少年団数 55 団体、登録者数 1,117 人）、スポーツ少年団指導者育成の支援（222 人）、ほっとドリームプロジェクト（延べ 2,283 人参加）
安全・安心な学校給食の提供	地場産食材の導入促進、アレルギー対応の実施（232 人）
正しい「食」への理解の推進	「食育通信」の配布、食育推進会議を開催し食育推進部会でリーフレット等の作成、「おびひろ市民学」において各校に食育指導専門員を派遣し「帯広らしい食育プログラム」の実施、食関連図書展示「いただきます！ごちそうさま！」、「朝食レシピコンテスト」の実施（205 件）
健康教育・健康保持	がん教育等健康に関する出前講座の開催、フッ化物洗口の推進（2 校）

⑨　教員の資質・能力の向上

主な取り組み	内訳・実績
教員の指導力の向上	教員リーダー育成講座（4 回）、パソコン研修講座（119 回）、帯広市教育研究会事業補助、ほっとドリームプロジェクト（延べ 2,283 人参加）
教職員の働き方改革の推進	帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プラン（第３期）策定による取り組みの推進、小・中義務教育学校への時間外の留守番電話完備、教職員住宅の整備（改築：八千代中）

（３）　地域とともに育む教育の推進

⑩　地域との連携・協働の推進

主な取り組み	内訳・実績
地域における支援体制の充実	全市立学校でのコミュニティ・スクール協議会の開催、帯広市コミュニティ・スクール通信の発行（3 回）、リーフレットの配布、学校支援地域本部の運営（14 本部 39 校）、こども学校応援地域交付金の交付（21 団体）、帯広市学校・家庭・地域協働会議の開催（2 回）
子どもの安全対策の充実	子どもの見守り活動実施（全小中義務教育学校 39 校）、子ども 110 番の家設置登録（969 件）、通学路安全対策連絡協議会の開催（２回）、通学路危険箇所合同点検（６箇所）
地域主体の体験活動への支援	放課後子ども広場の実施（26 校、延べ 515 回、延べ 14,472 人）、青連協への支援、帯広市生涯学習推進委員協議会として、帯広市学校・家庭・地域協働会議に出席（1 回）

⑪　家庭教育への支援

主な取り組み	内訳・実績
教育相談の充実	家庭訪問相談員等の教育相談員の配置
家庭教育力向上のための支援	「食育通信」の配布、家庭教育学級（6 学級、56 人）、わくわく♪ドキドキ‼家読（うちどく）にチャレンジ！（1 回、60 人）
PTA との連携の促進	帯広市 PTA 連合会への補助

⑫　学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

主な取り組み	内訳・実績
学校間の連携の推進	帯広市幼保小中連携推進委員会の設置、帯広エリア・ファミリー構想の推進
通学区域の見直しの実施	適正規模の確保に向けた取り組み

（４）　安全・安心な教育環境の整備

⑬　誰もが安心して学べる教育の推進

主な取り組み	内訳・実績
いじめ・非行の防止	街頭巡回活動（387 回）、声かけ指導人数（660 人）
不登校への対応	家庭訪問相談員等による相談業務と教育支援センター及びメタバース空間を利用したひろびろチョイスの運営
教育機会の確保	公立高等学校地域別検討協議会へ参加（2 回）、地域別公私立高等学校協議会へ参加（1 回）、就学援助認定（小 1,127 人、中 670 人）、奨学金貸与（大学生 15 人、専門学校３人、高校生３人）・入学支度金貸与（16 人）、障害者高等教育補助（87 人）
一人ひとりに応じた教育の充実	就学に関する教育相談の実施（515 件）、特別支援教育助手の配置（7 人）、特別支援教育補助員の配置（68 人）、生活介助員の配置（38 人）、特別支援学級の運営、小規模特認校就学（児童 1 人）

⑭　安全で充実した教育環境の整備

主な取り組み	内訳・実績
学校施設の整備	校舎屋根改修工事（小学校１校）、屋内運動場屋上防水改修工事（小学校１校）、ボイラー改修工事（小学校 1 校）、旧大空小学校の解体工事（２期）、南町中学校長寿命化改修の実施設計、市内全小学校・義務教育学校へエアコンの設置を実施 煙突用断熱材除去、セミナーハウスボイラー改修、格技場床修繕ほか（帯広南商業高等学校）
学習環境の整備	１人１台端末の活用
学校適正規模確保の推進	小規模校における近隣校との交流授業等の実施、後期計画（案）についてパブリックコメントの実施。

（５）　自ら学びともに支える生涯学習の推進

⑮　学習活動の促進

主な取り組み	内訳・実績
学習機会や情報の提供	市民大学講座（49 講座、受講者 1,646 人）、生涯学習情報誌（情報誌「まなびや」成人向け４回、小学生向け２回）、地域の学習情報・指導者情報のホームページでの提供、放送大学帯広学習室の設置（利用者 15 人）、【社会教育施設連携事業】子ども向けプチ講演会「絵本に出てくる虫のおはなし」（1 回、23 人）、「キラキラおはなし会～はじめてのプラネタリウム～」

	（1 回、54 人）、電子図書館の運営（貸出冊数 155,540 人）、自然観察会９人、博物館講座（370 人）、郷土学習見学会（29 人）、連続講座（63 人）、体験教室（68 人）、企画展（4,644 人）、収蔵作品展（1,117 人）、レファレンス、親子で挑戦！動物園のミステリークイズ（2 回、47 人）、幼児・児童動物画写生コンクール（225 人）、おびＺｏｏ寺子屋（5 回、86 人）、夜Ｚｏｏ探検隊・おびＺｏｏ探検隊（6 回　216 人）、スポットガイド・モグっとガイド（随時）、小学生のための動物園塾(1 回 12 人)、小学生の１日飼育係(2 回、15 人)、１日飼育係（5 回、16 人）、親子で飼育体験（3 回、22 人）、ふれあい教室・ぬくもり体験（79 組、2,127 人）、SNS による情報発信

⑯　学習を通じたまちづくり

主な取り組み	内訳・実績
自主的な学習活動の支援	コミュニティ講座（17,686 人）、高齢者学級（88 人）、語り手育成講習会（4 回、84 人）
地域の人材の育成・活用	学生の社会参加（30 日実施、参加者数 21 人）、令和 7 年 20 歳の集い（1,021 人）、R6.4　生街楽集の学舎の解散、地域の指導者の登録者数（140 人）、学生によるボランティア活動の機会提供・取り組みへの支援、帯広畜産大学との共同研究の実施、帯広畜産大学との連携講座の実施（2 回、46 人）

⑰　社会教育施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	とかちプラザの施設整備（外壁改修工事、空調機中央監視装置更新に係る工事、給気用送風機インバータ修繕、消防用設備修繕）、児童会館の施設整備（蛍光管照明の LED 化等）、百年記念館の施設整備(外壁パネル修繕等)、動物園の施設整備（キリン館整備、屋内休憩施設実施設計、園路整備）、図書館の施設整備（照明制御設備更新、無停電電源装置の蓄電池交換）
適切な管理運営の推進	施設利用者数（とかちプラザ 350,382 人、帯広市図書館 164,431 人、帯広百年記念館 78,953 人、おびひろ動物園 189,208 人、帯広市児童会館 327,213 人、帯広市野草園 17,080 人）、動物園の施設整備（動物舎脱走防止修繕、園内案内マップ更新）

（６）　人が輝く文化芸術活動の推進

⑱　文化芸術の「つくる･みる･ささえる」人の協働

主な取り組み	内訳・実績
市民文化芸術活動の促進	第 43 回おびひろ市民芸術祭（出演者、出品者数 769 人）、未来に繋ぐアーティストー北の構図展（出品者 3 人）、大ホールでスタインウェイを弾いてみよう！(参加者 55 人)、ティータイムコンサート vol.5～ワンコインで楽しむ午後のひと時～（出演者 1 団体）、ロビーコンサート（出演者 1 個人）、フルコンサートピアノ弾き比べ体験会（参加者 12 人）、市民文藝第 64 号（84 人、724 作品）、とかちジュニア文芸第 15 号(応募者数 57 人、58 作品)、とかちジュニア文芸文章教室（4 講座、22 人）、Little Concert ～家族で楽しむ音楽会～（参加者 2 人）、第 7 回帯広市民オペラ「アイーダ」（参加者 1,757 人）
文化活動団体の活動支援・指導者育成	文化団体等の情報提供（ホームページ掲載団体 240 団体）、帯広市文化賞等（1 団体 2 個人）、芸術文化活動振興事業補助金（3 団体）、青少年芸術文化活動派遣研修補助金（11 件）、大会等開催地補助金（1 団体）
文化芸術の鑑賞機会の提供	山崎育三郎全国ツアー2024「THE HANDSOME」（1,287 人）、渡辺貞夫カルテット 2024（466 人）、春風亭一之輔のドッサりまわるぜ 2024（486 人）、N 響メンバーによるゲートウェイ・ゾリステン北海道ツアー2024（405 人）、ロビーコンサート（20 人）

⑲　文化資源の継承・活用

主な取り組み	内訳・実績
文化財等の調査・保存・活用	埋蔵文化財センターの活動
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	アイヌ民族文化理解促進指導用教材の作成（副読本 おびひろ）、アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の活動
市史資料収集・保存	年史報告書の執筆・編集（１冊）、市史専門委員会の開催（４回）、古文書連続講座の開催（１回）

⑳　文化施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	市民ギャラリーの施設整備（展示室壁塗装、冷暖房機、スポットライト交換等修繕）、文化ホールの施設整備（大ホール調光操作卓、大ホール絞り緞帳撤去及び引割幕開閉ランナー更新）
適切な管理運営の推進	施設利用者数（帯広市民文化ホール 189,601 人、おびひろグリーンステージ 178,985 人、市民ギャラリー29,708 人）

（７）　笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

㉑　多様なスポーツ活動の促進

主な取り組み	内訳・実績
スポーツの振興	スポーツ賞（功労部門：1 個人、成績部門：3 個人、2 団体）、スポーツ奨励賞（5 個人、2 団体）
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	スポーツ大会派遣補助（160 件、597 人）、スポーツ少年団本部への支援（少年団数 55 団体、登録者数 1,117 人）、スポーツ少年団指導者育成の支援（222 人）
スケート競技の振興	ほっとドリームプロジェクト（延べ 2,283 人参加）

㉒　スポーツによる活力のあるまちづくり

主な取り組み	内訳・実績
地域スポーツの振興	スポーツ推進委員の配置（委員数 51 人）、各種スポーツ教室の開催（48 回、延べ 1,220 人参加）、総合型地域スポーツクラブへの支援（9 団体）、フードバレーとかちマラソン大会の実地開催（5,463 人エントリー）、スポーツフェスティバルの開催（27 種目、3,024 人参加）、学校開放事業（スポーツ開放）（281 団体、延べ 178,863 人利用）
スポーツ大会合宿等誘致	各種全国・全道大会等の誘致及び開催支援（27 大会への支援）、合宿の誘致（宿泊団体数 444 団体、宿泊者数 9,002 人）、プロスポーツ等の誘致

㉓　スポーツ施設の整備・管理運営

主な取り組み	内訳・実績
計画的な施設整備の実施	帯広の森市民プール可動床装置部品交換修繕、帯広の森運動施設変圧器・コンデンサ交換修繕、アイスアリーナ・スポーツセンターアイスホッケーライン・ポイント修繕、帯広の森体育館テニスコート用センター金具修繕、帯広の森運動施設高圧ケーブル等交換工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事（３期）、帯広の森体育館駐車場外灯改修工事
適切な管理運営の推進	体育施設利用者数（1,342,068 人）

（８）　施策の推進

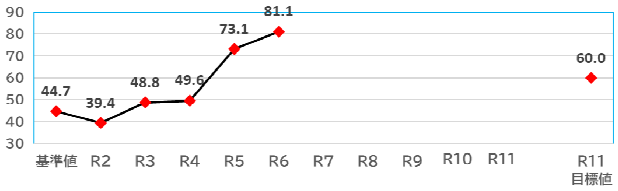
教育委員会における取り組み
教育懇談会（2 回）、意見交換会（1 回）、教育委員会会議の会議録のホームページでの公開、社会教育委員会会議の開催（3 回）

資 料 ４

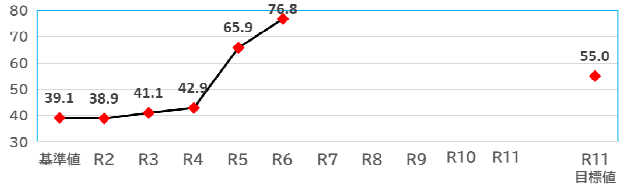
○　成果指標の推移

基本施策１：帯広の明日を拓く力の育成

参考図１．地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある子どもの割合(%)

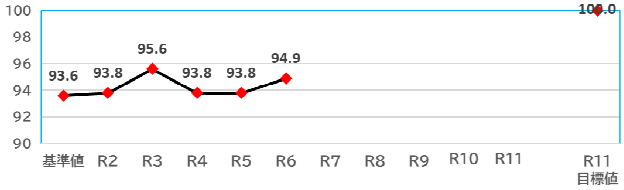


小学生（基準値はH27～R1平均）

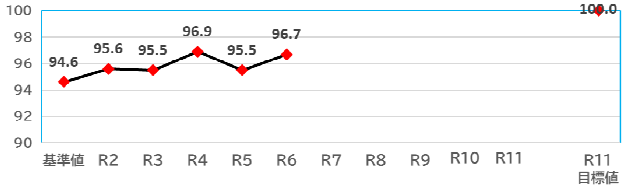


中学生（基準値はH27～R1平均）

参考図２．人の役に立つ人間になりたいと思う子どもの割合(%)

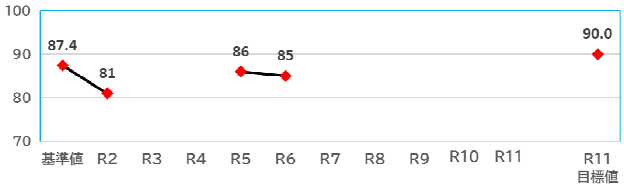


小学生（基準値はH27～R1平均）

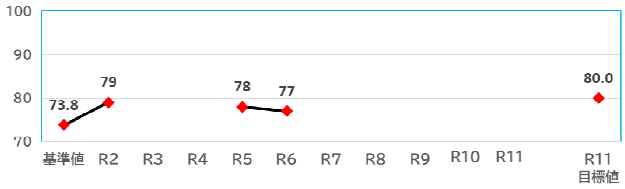


中学生（基準値はH27～R1平均）

参考図３．授業でコンピュータなどのＩＣＴを活用したいと思う子どもの割合(%)

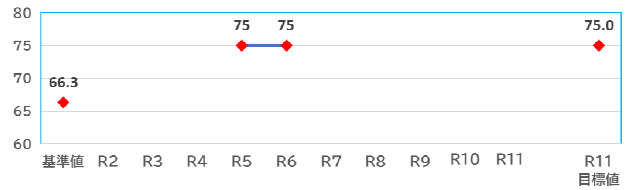


小学生（基準値はR1）

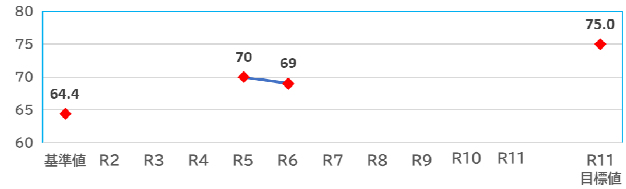


中学生（基準値はR1）

参考図４．外国の人と友達になったり、外国のことについて
もっと知ってみたりしてみたいと思う子どもの割合(%)

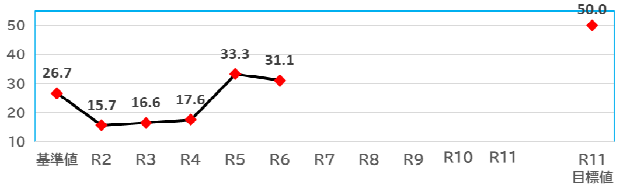


小学生（基準値はH29～R1平均）



中学生（基準値はH29～R1平均）

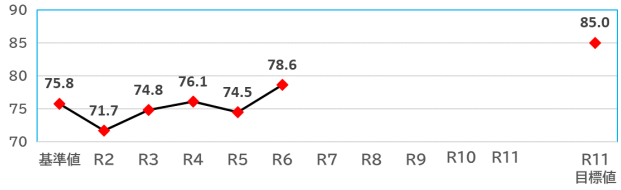
参考図５．地域貢献活動に主体的に取り組んでいる生徒の割合(%)



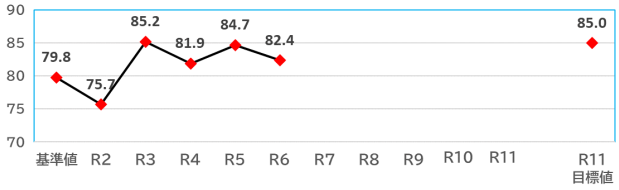
（基準値はR1）

基本施策２：変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

参考図６．授業において、課題の解決に向けて自ら考え取り組んでいると思う子どもの割合(%)

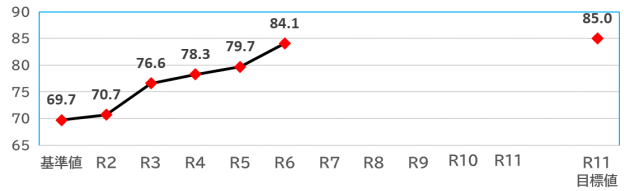


小学生（基準値はH30～R1平均）

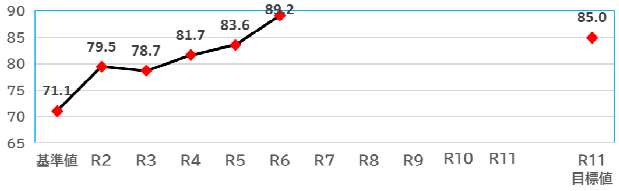


中学生（基準値はH30～R1平均）

参考図７．学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う子どもの割合(%)

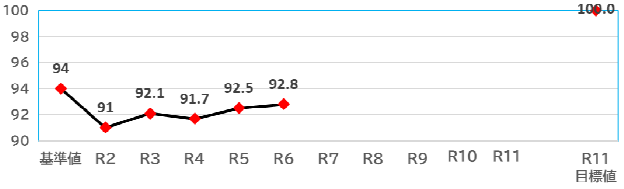


小学生（基準値はH27～R1平均）

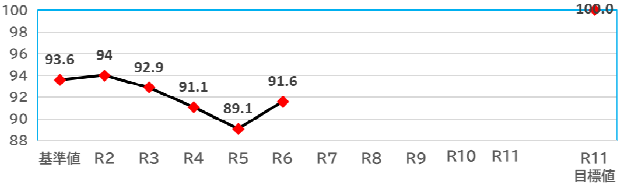


中学生（基準値はH27～R1平均）

参考図８－１．朝食を毎日食べている子どもの割合(%)

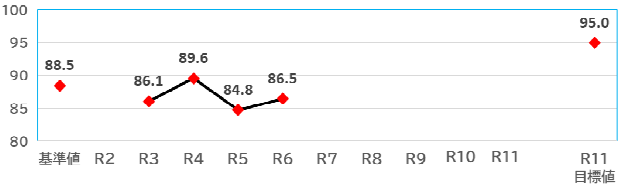


小学生（基準値はH27～R1平均）

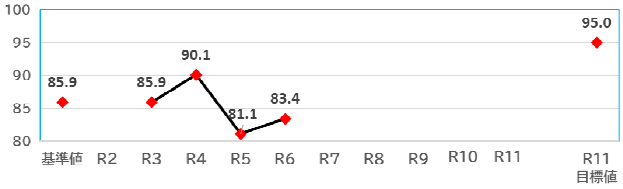


中学生（基準値はH27～R1平均）

参考図８－２．１週間当たり60分以上運動・スポーツをする子どもの割合(%)

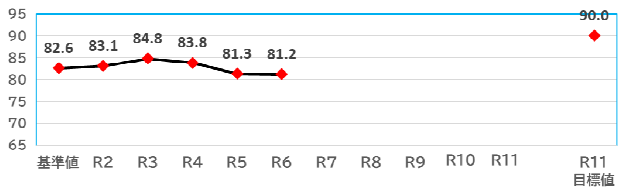


小学生（基準値はH26～H30平均）

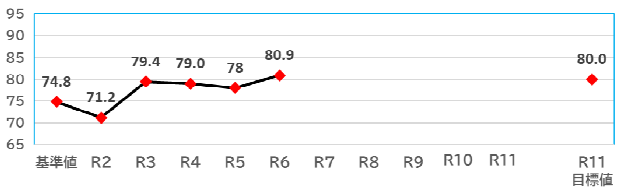


中学生（基準値はH26～H30平均）

参考図９．授業の内容がよくわかると思う子どもの割合(%)



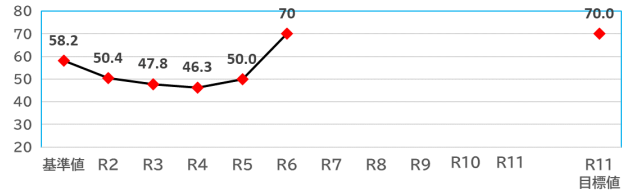
小学生（基準値はH27～R1平均）



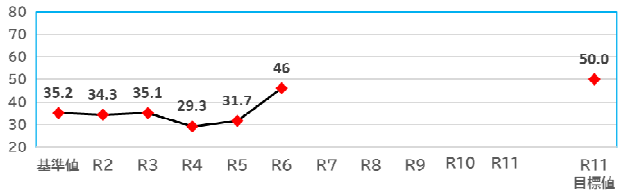
中学生（基準値はH27～R1平均）

基本施策３：地域とともに育む教育の推進

参考図１０．地域の行事に参加している子どもの割合(%)

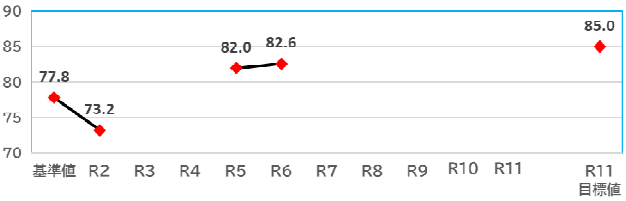


小学生（基準値はH27～R1平均）

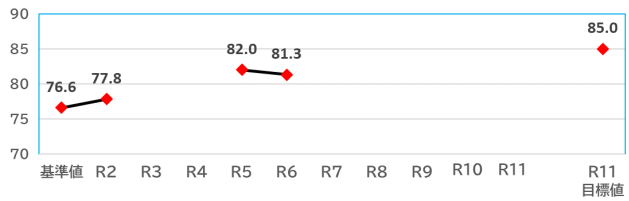


中学生（基準値はH27～R1平均）

参考図１１．家の人と学校での出来事について話をする子どもの割合(%)

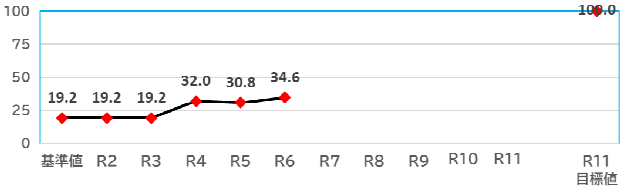


小学生（基準値はH27～R1平均）

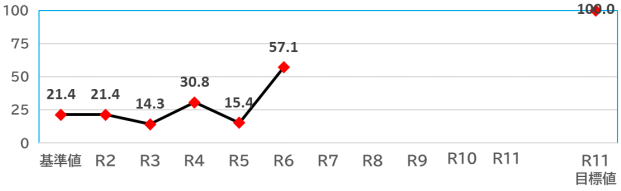


中学生（基準値はH27～R1平均）

参考図１２．小・中学校９年間を見通した授業を行っている学校の割合(%)



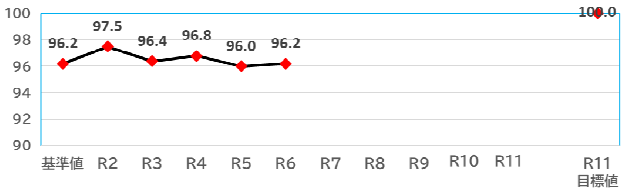
小学生（基準値はR1）



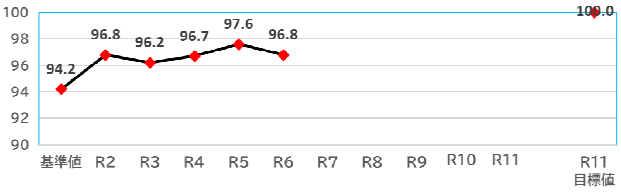
中学生（基準値はR1）

基本施策４：安全・安心な教育環境の整備

参考図１３．「いじめは絶対に許されない」と考える児童生徒の割合(%)

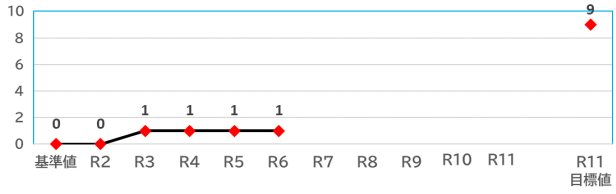


小学生（基準値はH27～R1平均）



中学生（基準値はH27～R1平均）

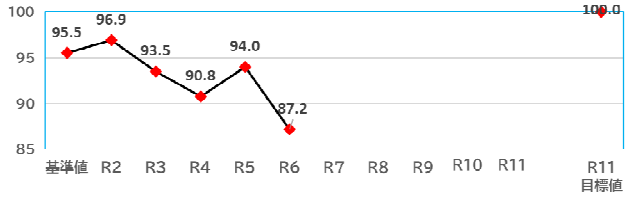
参考図１４．長寿命化改修の実施校数(校)



（基準値はH30）

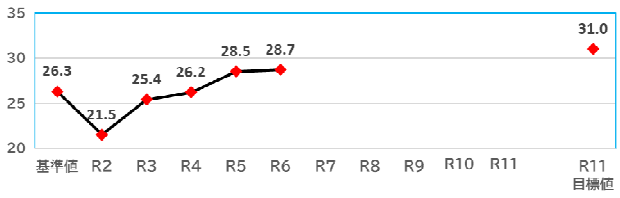
基本施策５：自ら学びともに支える生涯学習の推進

参考図１５．講座の満足度(%)



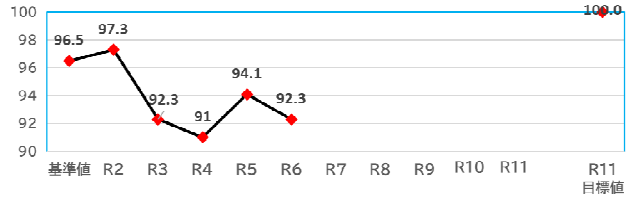
（基準値はR1）

参考図１６．学習成果をまちづくり、地域づくりなどに生かしたいと思う市民の割合(%)



（基準値はR1）

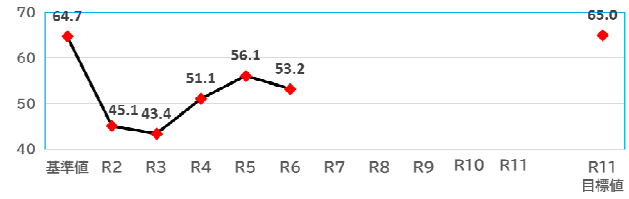
参考図１７．施設利用者の満足度(%)



（基準値はR1）

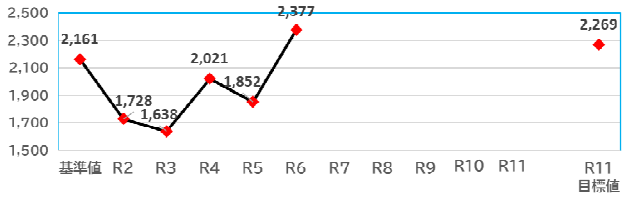
基本施策６：人が輝く文化芸術活動の推進

参考図１８．直近１年間に文化芸術の鑑賞活動を行ったことがある市民の割合(%)



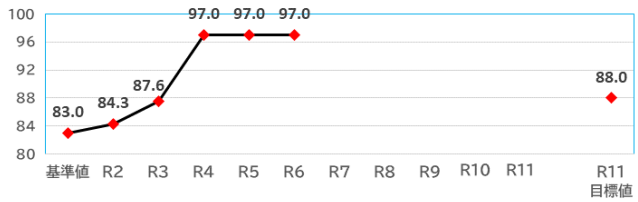
（基準値はR1）

参考図１９．市ホームページの文化資源紹介ページの年間総アクセス数(件)



（基準値はR1）

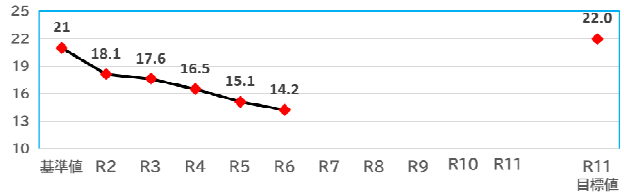
参考図２０．施設利用者の満足度(%)



（基準値はH26～H30平均）

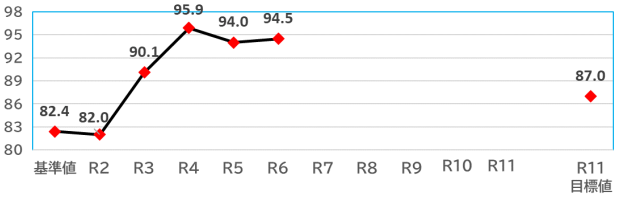
基本施策７：笑顔をつなげる教育活動の推進

参考図２１．市内小学生数における帯広市スポーツ少年団登録者数の割合(%)



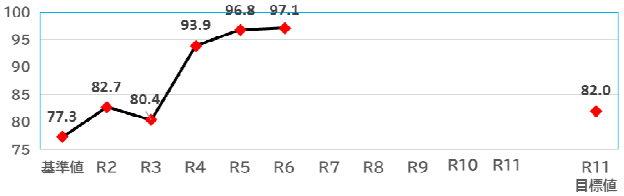
（基準値はH27～R1平均）

参考図２２．１年間のうち、する、みる、ささえることでスポーツに関わった市民の割合(%)



（基準値はR1）

参考図２３．施設利用者の満足度(%)



（基準値はR1）

資 料 5

○　令和５年度の課題及び今後の方向性に対する令和６年度の取り組み

（１）　帯広の明日を拓く力の育成

①　ふるさと教育の推進

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
地域資源を活用したふるさと理解の促進	○郷土への愛着や誇りを育むため、引き続き「おびひろ市民学」による学びを進めるほか、地域資源や特色を生かしたスポーツ体験や、動物、科学等に触れる機会を提供する	○「おびひろ市民学」において、小中義務教育学校９年間を見通したカリキュラムのもと、十勝・帯広について学ぶ機会を提供したほか、新たに７講座を開設。児童会館では、科学展示室において十勝・帯広に関連する自然・宇宙・エネルギー等の展示により、まちづくりや歴史に興味関心を高める機会を提供、動物園では、地域の動物をテーマとした講座（小学生のための動物園塾）やばん馬とのふれあいを実施、スポーツ体験としては､「ほっとドリームプロジェクト」を実施したほか、十勝管内小学校へ明治北海道十勝オーバルを授業開放
食を通じたふるさと理解の促進	○地域の食や産業への理解促進を目的に、地場産食材を活用した「ふるさと給食」を提供する ○「おびひろ市民学」において「帯広らしい食育プログラム」を実施し、食を通じたふるさと理解を進める	○地場産食材の収穫期に合わせ、9～11 月の各月 1 日にふるさと給食を提供したほか、１１～1 月に新たに開発した地場産食材を活用した加工品を提供 ○「おびひろ市民学」において「帯広らしい食育プログラム」を実施し、栄養教諭や食育指導専門員による給食指導等、食を通じたふるさと理解を推進

地域社会に参画する意識の醸成	○各団体等と連携し、体験活動やリーダー研修による、養成事業の充実を図る ○計画的な金銭管理の必要性や契約の仕組み等の知識を身に付ける機会を提供する ○親子防災講座を実施し、ボランティアや防災活動への参加等への意識を高める	○地域子ども会リーダー宿泊研修会や、ジュニアリーダー養成講座「あすかの会」を実施 ○各種通知や資料等を学校に提供したほか、租税教室等を実施 ○ボランティアや防災活動への参加等への意識を高めるため、親子防災講座を実施
環境教育の推進	○学校での環境教育を推進し、子どもたちが地域の自然環境について学び・考える機会を設ける ○帯広の自然や学校以外の教育施設を活用した体験機会を提供する	○当事者意識を持って課題解決する能力を養うため、生活体験を軸とした教育をすすめたほか、環境教育に取組む学校、地域等の連携を促進するため「帯広らしい環境教育プログラム集」を発行し、ホームページに掲載 ○児童会館では、科学展示室の展示等により、環境について考え学ぶ機会を提供 ○百年記念館では、自然観察会や出前事業「ミニ百年記念館」などにより、地域の自然について学ぶ機会を提供

② 職業観の育成

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
学校におけるキャリア教育の推進	○「おび学ファイル（ポートフォリオ）」を継続活用し、系統的な学びの充実と社会的・職業的自立に向けたキャリア意識の向上が図られるよう、指導・助言を継続する ○積極的にキャリア教育に取り組んでいる学校の事例について、学校間連携が図られるよう情報共有を進める	○多様な職業について理解を深めるため、外部講師を招いた授業等を実施 ○一人一台端末を活用したオンライン工場見学やインターネットによる調べ学習等、キャリア・パスポートを活用した系統的な指導を実施

職業体験機会の充実	○関係課や参加企業と協力し、職業体験機会を提供する ○図書館においては、インターンシップや実習を継続的に受け入れ、希望分野に沿った職業体験機会を提供する ○百年記念館においては、地域資料を収集する博物館としての特色を活かしたインターンシップを継続し、地域に根差した職業体験機会を提供する ○動物園においては、飼育体験等の事業におけるアンケートでの満足度が高いことから、今後も内容の充実に向けて取り組む	○参加企業の協力のもと、職業体験や社会体験の機会を提供する「おびひろキッズタウン」を実施 ○図書館においては、「なりきり図書館員」の実施やインターンシップの受け入れ等を通じ、市役所や司書の仕事について理解を深める機会を提供 ○百年記念館では、インターンシップを継続して実施し、博物館の特色を活かした職業体験機会を提供 ○動物園での体験型講座の実施（1 日飼育係、小学生の 1 日飼育係、親子で飼育体験）インターンシップ、キャリア教育（講話）、職業調べへの協力

③　情報教育の推進

主な取り組み	令和 5 年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和 6 年度の取り組み
情報活用能力の育成	○一人一台端末の日常的な活用の充実に取り組む ○地元企業等と連携した ICT を活用した教育を進める	○情報を主体的に収集・整理・分析し、発信・伝達する力を育成するため、ICT を活用した学習活動を実施 ○ICT を活用した教員の指導力向上のため、および GIGA 支援員による校内研修等を実施
情報モラルの育成	○インターネットの利用に伴う危険性やフィルタリング機能の活用等について啓発に取り組む ○関係機関や事業者、家庭と連携し、情報モラルの育成に取り組む ○関係機関と連携し、SNS の正しい利用やインターネットの安全利用に関する啓発活動に取り組む	○正しい知識を身に付けるため、著作権やプライバシーの保護等について理解を深める学習を実施 ○インターネットの安全利用に関する啓発活動として、関係機関と連携し、教職員向け講演会を開催したほか、携帯電話販売店へフィルタリング機能の説明状況に係る立入調査などを実施
プログラミング教育の推進	○プログラミング教育を行う単元について、各学校が教育課程へ位置付けるとともに、中学校技術科において企業による専門的な授業を開催する	○プログラミング的思考や ICT を活用するために必要な資質・能力の育成を発達の段階に応じて実施

④　国際理解教育の推進

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
外国語を用いたコミュニケーション能力の育成	○外国語によるコミュニケーション能力向上のため、小学校における外国語専科教員の配置や外国語指導講師（ALT）を活用した授業に継続して取り組むとともに、研修を通じて ALT の授業力の向上を図る ○ALT との触れ合いを通して、外国語による児童生徒の実践的・日常的コミュニケーション能力の向上を図る	○外国語運用能力向上のため、「読む・書く・聞く・話す」技能をバランスよく身に付けるための指導を実施 ○外国語指導講師（ALT）の指導力向上のための、「ALT 研修」を実施 ○発達の段階に応じて、国際交流員等を効果的に活用した、コミュニケーション活動を実施
多様な国の伝統・文化に関する理解の促進	○ALT による外国語のサポート学習に取り組むほか、体験的な活動を重視した国際理解教育の実践を進める	○他国の伝統や文化についての理解を深め、尊重する資質や能力を育成するため、ALT や市の国際交流員との交流等を通じて、多様な国の伝統・文化に触れる機会を提供

⑤　南商業高等学校における教育の推進

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
商業教育の充実	○商業に関する実践的な知識・技術の定着と目標を持った学習を通じて、実践力を高める指導に取り組む ○多様な進路に対応した教育課程の編成に取り組む ○国際理解教育については、マディソン市派遣研修実行委員会等と連携して進める	○全国商業実務検定の１級を３種目以上取得した生徒の割合が 73.9%と全道の商業高等学校のなかで最多 ○マディソン市派遣研修は５名の生徒が参加し３月に実施
地域経済に貢献する人材の育成	○外部講師による講習会の開催のほか、進路指導や各種検定試験合格に向けた学習支援等により即戦力となる人材育成の充実に取り組む	○外部講師によるマナー講習会や先輩訪問の実施したほか、R5 に引き続き就職・進学ともに内定率 100%を達成

地域社会との連携・協働による教育の推進	○コミュニティ・スクールから学校運営に対する意見をいただき、教育活動について今後も改善を図る ○学校運営協議会から学校運営に対する意見をいただくなどして、学校の運営状況や教育活動の改善に継続して取り組む	○学校運営協議会の開催
地域とつながる活動の推進	○学校開放講座については、学校施設や人材の活用により地域住民に学習機会を提供し、学校の理解促進を図る ○生徒のボランティア活動については、主催者等と連携した取り組みを進める	○ボランティア活動については、小学校や高齢者施設でのサポート、動物園等での清掃活動、20 歳のつどい等イベントの手伝い、募金活動を実施

（２） 変化する社会に挑戦し、たくましく生きる力の育成

⑥ 学びを生かす力の育成

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
学校における授業の工夫・改善	○個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実と「子ども」が主体となる授業実践に向け、一人一台端末をより主体的に活用する授業に取り組む	○「主体的・対話的で深い学び」の視点を重視した、一人一台端末を活用した授業を推進
学習活動の支援	○一人一台端末で活用できる教材作りに継続して取り組む ○不登校児童生徒への学びの保障等、メタバース空間をはじめとするオンラインを活用した学びの更なる充実を図る ○「ぶっくーる便」の計画的な入替により子どもたちにとって魅力的な図書を提供する	○授業や校務における一人一台端末の使い方や授業実践についてまとめたウェブサイト「帯広市教育研究所 GIGA サポ」を作成 ○不登校児童生徒の学びを保障するため、メタバース空間を活用した学びを進め、新たに興味・関心が同じ児童生徒が小集団で楽しみながら学ぶことができるよう「クラブチョイス」を実施 ○令和６年度の「ぶっくーる便」は、1,116 件（前年比 212 件増）

教育課程の工夫・改善	○目標の実現に必要な教育の内容等を横断的な視点で組み立てるカリキュラム・マネジメントの充実を図る ○全小中義務教育学校の適切な教育課程の編成と学習指導の改善に資するため、「教育課程編成の手引き」の見直しを継続する	○学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成及び実施を支援するため、「教育課程編成の手引き」を作成 ○小中義務教育学校において、一貫性のある教育が実施されるよう、エリアを中心として小中連携を推進
学力の分析・検証	○学力の実態や標準学力調査の特徴を総合的に分析し、指導方法の改善につながる事項を明らかにし、学校に還元する	○標準学力調査結果の分析を基に、本市児童生徒の学力の傾向と課題を明らかにした「帯広の子どもの学力」を発行し各校へ配付
体験的・問題解決的学習の推進	○図書館や児童会館において、学校のニーズを踏まえながら各種の学習機会を提供する	○関係機関と連携し、オンラインを活用した施設見学を実施 ○図書館では、帯広畜産大学と連携し、課題解決型講座を実施 　児童会館では、プラネタリウムや科学展示室、宿泊学習での科学実験学習や親子科学実験教室、工作教室を開催し、科学や自然を学ぶ体験機会を提供

⑦　豊かな人間性と創造性の育成

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
道徳教育の充実	○校内外における教職員向け研修の充実を図り、道徳科の授業改善を進める ○子どもたちの道徳性を豊かに育むため、地域人材やゲストティーチャーを活用するほか、他教科との関連や評価の充実等による道徳科を要とした教育活動を展開する	○公開研究会等を活用し、校内外における教職員向け研修の充実と、道徳科の授業改善を推進 ○子どもたちの道徳性を育むため、道徳科を要とした教育活動を展開
読書活動の推進	○図書ボランティアや司書教諭及び関係部署との連携を図る ○電子書籍の利用を通して読書活動の活性化に取り組む ○将来の担い手として、「語り手育成講習会」等により新規ボランティアを養成する	○市図書館司書の派遣による「学校図書クリニック」を実施 ○朝読書等における一人一台端末から閲覧可能な電子書籍の整備と活用 ○「語り手育成講習会」については、習熟度別の入門編、ステップアップ編に加え、plus 編を２回実施

文化芸術活動の推進	○演劇鑑賞等の良質な文化芸術に触れる機会を提供する ○より効果的な学習発表会や文化祭の在り方を検討し、子どもたちの情操教育を進める	○子ども向け鑑賞機会提供事業を実施 ○各学校においてICTを活用した学習発表会や文化祭を展開
体験活動の推進	○ICT を活用し、空間的・時間的な工夫に継続して取り組むとともに、各種社会教育施設と連携し、魅力ある体験活動を提供する	○「おびひろ市民学」において、ICTを活用したオンライン工場見学を実施 　児童会館での科学教室・工作教室等の開催 　動物園での体験型講座の実施（1 日飼育係、小学生の 1 日飼育係、親子で飼育体験）

⑧　健やかな体の育成

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
体力・運動能力の向上	○体力向上推進プロジェクトチームによる研修会の開催や各学校への大学教授等の専門的な指導を通じて、子どもたちの体力・運動能力の分析・検証をすすめ、授業改善に取り組む ○各団体への支援を通じて指導者の育成を図り、少年団に安心して加入できる環境づくりや、スピードスケート教室を通じたスケートの普及振興に取り組む	○各学校において、過去の全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を検証し、授業への反映や生活習慣の見直しを実施 ○スポーツ少年団本部への支援、スポーツ少年団指導者育成の支援､「ほっとドリームプロジェクト」の実施、明治北海道十勝オーバルを十勝管内小学校へ授業開放
安全・安心な学校給食の提供	○地場産食材の導入を進めるほか、適切な栄養バランスを考慮した学校給食の提供により児童生徒の健全な心身の発達を図る ○食物アレルギーに関する正確な情報及び除去食の提供を行い、学校給食における事故防止に取り組む	○安全安心な地元産食材の導入促進 ○食物アレルギーを持つ児童生徒に対してアレルギー除去食（卵、乳）の提供｡「給食だより」へのアレルギー情報の表示

正しい「食」への理解の推進	○「食育通信」等の資料の配布や、帯広市食育推進部会による児童生徒と家族が一緒に朝食作りに取り組むイベント、食育講演会を実施する ○図書館では食育月間に合わせて、食をテーマにした映画会・おはなし会を開催する	○「食育通信」の発行 ○食に関する正しい知識の習得と望ましい食習慣の啓発を図るため「朝食レシピコンテスト」を実施 ○食の映画会「帯広ガストロノミー」の上映や食に関するコラボおはなし会を開催
健康教育・健康保持	○子どもたちが性に関する正しい知識を身に付け、心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値を尊重し相手を思いやる心を醸成できるよう、発達の段階に応じた教育を進める	○心身の発達に関して理解を深め、自分や他者の価値観を尊重し相手を思いやる心を醸成できるよう、国や道からの通知等の情報を提供

⑨　教員の資質・能力の向上

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
教員の指導力の向上	○学力向上推進プロジェクトチームの会議等を通じて、教員の資質能力や豊かな人間性と社会性の向上を図る ○教職員向け研修の受講率向上を図るため、今日的な課題を取り上げる等、教職員の技能や指導力向上につながる講座の企画に取り組む	○授業改善に向けた指導主事による学校教育指導訪問を実施したほか、教職員の指導力向上に関わる取り組みとして、「夏季・冬季研修講座」、「ONE-UP研修」を開催したほか、経験年数 20 年以上の教職員を対象とした「エキスパート教職員実務研修」、初任段階教職員を対象とした「ヒバリーカフェ」を開催 ○ICT の活用等今日的な課題を取り上げた教職員の受講率向上に向けた講座を開催
教職員の働き方改革の推進	○ICT を活用した校務の効率化や学校行事の見直しなど、帯広市立学校における教職員の働き方改革推進プランで掲げる項目について学校及び市教委関係課等で取り組む	○教職員の負担軽減の観点から、対面及びオンラインを併用した各種研修会を開催

（３）　地域とともに育む教育の推進

⑩　地域との連携・協働の推進

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
地域における支援体制の充実	○「地域とともにある学校づくり」を進めるため、地域との熟議や協働による取り組みを進める ○指導主事による学校教育指導訪問時に、取り組み状況に応じた全国の好事例を情報提供する ○学校と地域との連携した活動や学校運営協議会委員の研修等に取り組むほか、こども学校応援地域基金を活用した支援を周知し、ボランティア団体間の連携した活動の拡大を図る	○全市立学校でコミュニティ・スクール協議会を実施し、学校・家庭・地域で目指す子ども像を共有 ○学校・家庭・地域が一体となった活動の促進や人材育成のため、「帯広市学校・家庭・地域協働会議」における意見交換や研修会を実施 ○新規ＣＳ委員向けの研修会や地域コーディネーターの養成を目的とした研修会を開催し、制度の周知に努めたほか、こども学校応援地域交付金を交付（２１団体）し、ボランティア団体間の連携した活動を支援
子どもの安全対策の充実	○活動団体の担い手確保を継続し、地域ぐるみで見守り活動に取り組むほか、「帯広市子供安全ネットワーク」の周知を進める ○通学路の安全確保については、関係機関と情報の共有を図り、危険個所の合同点検を実施する ○登録者の確保により「子ども 110 番の家」設置個所の拡充を図る	○「帯広市子供安全ネットワーク」を活用した保護者へ大雪等の災害情報や熱中症等に関わる情報提供・情報発信 ○通学路危険個所の点検と公表 ○登下校時にその身に危険が迫った場合等に逃げ込む「子ども 110 番の家」の設置（９６９個所）
地域主体の体験活動への支援	○子どもの居場所づくり事業は、事業を担うボランティア登録者数や実施回数及び参加児童数が感染症流行以前より減少しているため、実施方法や PR 活動を工夫し事業を継続する ○青少年育成団体の各事業においては、関係団体と協力し、魅力ある体験活動機会を提供する	○プラザまつりや市内小売店等で PR 活動を行ったほか、複数学年合同で放課後子ども広場を実施 ○地域のリーダーを養成するための研修会やボッチャ、モルック等の体験会を実施

⑪　家庭教育への支援

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
教育相談の充実	○教育相談員体制のさらなる充実と、より有効な教育相談員の活用を図るため、配置日数の調整等の工夫を進める ○相談員会議等を通して研修を深め、相談業務の充実を図る	○こころの教室相談員及び家庭訪問相談員を配置し、子どもの教育に関する悩みについての相談に対応 ○相談員会議におけるスクールカウンセラーを講師に迎えた事例検討を通して研修の実施
家庭教育力向上のための支援	○学校においては、子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて､「おびひろ市民学」を中核として消費者教育・人権教育等様々な視点から啓発を進める ○家庭に向けて、図書館における絵本セットの内容の充実に取り組む ○「食育通信」の配布により、ライフスタイルの変化による児童生徒の食生活の乱れ改善に取り組む	○子どもたちの基本的な生活習慣の確立に向けて、起床や食事の摂取状況を記録するためのシートを学校にて配布し、家庭への助言を実施 ○図書館では、絵本セットについて周知 ○「食育通信」の配布
ＰＴＡとの連携の促進	○各校のPTAや帯広市PTA連合会等との情報交換を進めるほか、関係団体への行政支援を継続し連携を深める	○家庭における教育力を高めるため、各校のPTAや帯広市PTA連合会等との情報交換を実施 　帯広市PTA連合会へ補助金の支出、後援などによる支援の実施

⑫　学びと育ちをつなぐ学校づくりの推進

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
学校間の連携の推進	○小中一貫教育の更なる充実に向け、教育課程の見直し及び編成を進める ○幼保・小・中における授業交流や乗り入れ授業を行うととともに、教員による部会を設定し、教育課題の共有や取り組みの共通化を図るなど、より詳細な情報共有や学校種間の連携強化を進める	○「帯広市エリア・ファミリー構想」に基づき、職員間交流を通じた情報共有を実施 ○エリア・ファミリーの代表者が集まり、生徒指導に関わる諸問題について協議し、エリア共通の取組を推進

通学区域の見直しの実施	○通学距離、幹線道路、河川等の地理的条件や地域コミュニティとの整合性、一つの小学校から複数の中学校に分かれる分散進学の解消等に配慮し、通学区域の見直しを進める	○「帯広市小中学校適正規模の確保等に関する計画」と連動し、通学区域のあり方について検討

（４）　安全・安心な教育環境の整備

⑬　誰もが安心して学べる教育の推進

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
いじめ・非行の防止	○いじめの未然防止や就学に対する支援等、誰もが安心して学ぶことができる環境の整備を進める ○街頭巡回指導等や非行防止活動に取り組む	○道徳科の学習を要として、子どもたちの意識向上に取り組んだほか、対策委員会等による啓発活動を実施 ○地域の指導協力員と街頭巡回指導等を通じた非行防止活動を実施
不登校への対応	○教育相談員の専門性の向上を図る研修の実施や相談体制の充実、関係機関との連携強化を進める ○教育支援センターに創設したメタバース空間「ひろびろチョイス」を活用し、社会的自立を支援する	○不登校傾向の子どもに対して、教育相談員と連携し、子どもや保護者からの相談対応や助言等を実施 　子どもの自立や学校生活への復帰を支援するため、教育支援センター「ひろびろ」や「ひろびろチョイス」の運営、一人一台端末を活用したオンライン授業等を実施 　○メタバース空間「ひろびろチョイス」を活用や、利用者が参加できる「クラブチョイス」企画し、意図的に人とかかわる機会をつくることで、社会的自立を支援
教育機会の確保	○就学や通学に関わる経済的な支援を行う ○スクールバスの安定的な運用のため、運転手の確保について検討する ○市内高校の間口を維持・確保するため、会議等の機会を通して情報収集や要望活動を行う	○経済的な理由により児童生徒の就学が困難な保護者へ就学援助費を支給したほか、奨学資金の貸与を通じて、大学等への就学を支援 ○農村地域で遠距離通学となる児童生徒への支援としてスクールバスを運行 ○市内高校の間口を維持・確保するため、関係者間での情報収集や意見交換の実施

一人ひとりに応じた教育の充実	○教育相談体制の確保と関係機関との連携強化を図るとともに、特別支援学級の継続設置や通級指導教室の開設等により、多様な学びの場の整備を進める ○教職員向けの研修により、LGBTQ等やヤングケアラー、障害のある児童などへの理解促進の取り組みを進める	○特別支援教育の専門家を招き、子ども一人一人の教育的ニーズに応じた合理的配慮の在り方や必要な学校の対応についての理解を深める研修会を開催 ○LGBTQ等に関する理解を深める研修会を開催

⑭　安全で充実した教育環境の整備

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
学校施設の整備	○「帯広市学校施設長寿命化計画」に基づき、計画的かつ継続的な修繕を行い、学校施設の長寿命化及び機能・性能の改善に取り組む	○小中学校において、校舎屋根改修工事、屋内運動場屋上防水改修工事、ボイラー改修工事、旧大空小学校の解体工事（２期）、南町中学校長寿命化改修の実施設計、市内全小学校・義務教育学校のエアコン設置を実施 　南商業高等学校において、煙突用断熱材除去、セミナーハウスのボイラー改修、格技場の床等を修繕
学習環境の整備	○小中義務教育学校においては、児童生徒が主体的に学び、自ら問題を発見し解決できる力の育成を図るため、一人一台端末の活用範囲の拡大を進める	○授業や自宅学習における一人一台端末の活用 ○端末の故障に対する修繕など、主体的な学びの環境を維持
学校適正規模確保の推進	○児童生徒数及び学級数を推計し、結果について市民へ情報提供する ○学校の小規模化による影響の緩和を図る取り組みを進める	○「帯広市立小中学校適正規模の確保等に関する計画」に基づき、学校の小規模化の影響がより顕著に生ずる可能性のある学校を対象に、近隣校との交流授業等を実施 ○後期計画期間の取り組みに向け、後期計画（案）についてパブリックコメントを実施

（５）　自ら学びともに支える生涯学習の推進

⑮　学習活動の促進

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
学習機会や情報の提供	○市民大学講座は、市民ニーズを踏まえた講座テーマの設定、開催方法の工夫等により、市民が参加しやすい学習機会を提供するほか、生涯学習情報誌「まなびや」による情報提供を行う ○図書館では、他機関との連携の輪を広げ、幅広い分野に拡大し、厚みのある事業に取り組む ○百年記念館では、博物館関係機関・施設等との連携し効率的・効果的な講座の開催、展示の企画に取り組む ○動物園では、講座の定員に対して応募者数が多いことやアンケートでの満足度が高いことから、引き続き内容の充実を進める	○市民大学講座において、新たに空き家の相続に関する講座や参加型の科学実験講座などを開講したほか、生涯学習情報誌「まなびや」を発行 ○図書館では、市内高校書道部と共同で「図書 de 書　読書感動書～ことばを筆に～」を開催 ○百年記念館では、十勝に関する多方面の最新研究情報などを博物館講座で提供したほか、アイヌ文化に関する特別企画展「アットゥシと太布」を開催 ○教育講座（おび Zoo 寺子屋等）、体験講座（飼育体験ほか）の実施、SNS による情報発信

⑯　学習を通じたまちづくり

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
自主的な学習活動の支援	○図書館では、ボランティアと情報交換を図りながら相互連携をすすめ、活動を支援する ○百年記念館では、ボランティアの知識向上のために研修会等の学習機会を確保し、知識を活かした新たな活動の場を提供するほか、ボランティア活動を行う人員の充実に取り組む ○動物園では、今後も学生等の活動主体が積極的に活動できるよう支援する ○地域の生涯学習活動では、生涯学習推進委員会等の社会教育団体が地域で行う多様な活動の支援に取り組む	○図書館では、読み聞かせや朗読ボランティアと共催でおはなし会や朗読会を実施 ○百年記念館では、ボランティア向けの研修会を実施 ○動物園では、学生のボランティア活動に対する助言等のサポートを実施 ○生涯学習推進委員会によるコミュニティ講座において、地域住民への生涯学習機会や交流機会を提供

地域の人材の育成・活用	○生涯学習指導者登録制度の認知度を高め、利活用を図るため、情報発信の強化と登録者数の確保に取り組む	○生涯学習指導者登録制度での、指導者登録を公開したほか、地域における生涯学習活動支援のための情報発信を実施

⑰　社会教育施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○とかちプラザにおける外壁改修工事、空調機中央監視装置更新に係る工事、給気用送風機インバータ修繕、消防用設備を修繕 図書館における照明制御設備の更新、無停電電源装置の蓄電池交換等を実施 児童会館における蛍光管照明のＬＥＤ化とトイレ洋式化の修繕を実施 動物園におけるキリン館整備、屋内休憩施設実施設計、園路整備
適切な管理運営の推進	○とかちプラザでは、指定管理者による適切な管理運営と利用者サービスの向上に取り組む ○図書館では、適切な管理運営と図書館サービスの向上に取り組む ○児童会館では、科学展示室の展示やプラネタリウム投影、各種イベントやクラブを開催するほか、学びと遊びの機能の充実に取り組む ○百年記念館では、利用者ニーズを念頭に置き、利便性の向上を図るほか、効果的・効率的な管理運営に取り組む ○動物園では、地域に根差した魅力ある動物園と感じられるよう、講座等の学習機会の提供やレクリエーション機能の充実に取り組む	○指定管理者への適切な支援と、指定管理者の節減努力等により安定した経営を行い、利用者サービスを維持 ○図書館では、各種講座等において使用する多目的視聴覚室のプロジェクターを修繕 ○児童会館では、開館 60 周年記念事業を実施するとともに、各種イベントを通じて学習機会を提供 ○百年記念館では、アンケートを用いた利用者ニーズの確認を実施 ○動物園では、一日飼育係やおび Zoo 探検隊等の講座のほか、海の日やハロウィンのイベントを実施

（６）　人が輝く文化芸術活動の推進

⑱　文化芸術の「つくる･みる･ささえる」人の協働

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
市民文化芸術活動の促進	○市民の主体的な文化芸術活動を促進するため、市民に発表の機会や交流の場を提供する事業に継続して取り組む ○「とかちジュニア文芸文章教室」を開催し、子どもたちの創作意欲・読解力・表現力の向上を図る ○市民の文化芸術活動を支援するため引き続き学校施設の開放事業を行う	○市民芸術祭や市民オペラ等の事業を実施 ○とかちジュニア文芸文章教室を開催 ○学校施設開放事業の実施
文化活動団体の活動支援･指導者育成	○文化団体等の活動情報提供を継続するほか、文化活動を行う個人・団体の顕彰や支援を行う	○ホームページなどを活用し、文化団体の活動情報を提供、文化賞等による表彰（２個人・１団体）
文化芸術の鑑賞機会の提供	○鑑賞者アンケート等を踏まえた事業を実施し、市民が良質な文化芸術を直接鑑賞する機会の提供に取り組む ○市民が身近に芸術・文化に親しめる機会を提供するため、北海道立帯広美術館の特別企画展へ参画する	○音響コンサートやジャズ、落語等の公演の実施 ○北海道立帯広美術館特別企画展「写真展　星野道夫　悠久の時を旅する」に参画し、市民が身近に芸術・文化に親しめる機会を提供

⑲　文化資源の継承・活用

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
文化財等の調査・保存・活用	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の修繕を行う ○「八千代Ａ遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、計画的に取り組みを進める	○文化財の適切な管理や、必要性に応じた史跡標示板の説明内容の更新および修繕を行うほか、文化財の活用・公開の実施を継続 ○「八千代Ａ遺跡出土品」を適切に保存し積極的に活用するため、専門業者による修理・美装化を実施できるよう計画的に取り組みを進める
アイヌ伝統文化の調査・保存伝承・普及	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助及び伝統的生活空間再生事業を継続し、アイヌ伝統文化の保存・伝承団体への支援に取り組む	○帯広カムイトウウポポ保存会伝承活動補助金により活動の補助を行ったほか、伝統的生活空間（イオル）再生事業として古式舞踊の披露や料理体験交流会等の講座を実施

市史資料収集・保存	○「年史報告書」の作成に取り組むとともに、令和 14 年度に迎える帯広市開拓 150 年・市制施行 100 年を見据えて、資料収集事業に取り組む	○将来的な市史編纂事業を見据え、歴史関係の企画の実施、資料の収集を継続

⑳　文化施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○市民文化ホール大ホール内の照明操作をする「大ホール調光操作卓」、安全性確保のため「大ホール絞り緞帳撤去及び引割幕開閉ランナー」を更新
適切な管理運営の推進	○適切な管理運営と利用者サービスの向上に継続して取り組む	○指定管理者への適切な支援と、指定管理者の節減努力等により安定した経営を行い、利用者サービスを維持

（７）　笑顔をつなげるスポーツ活動の推進

㉑　多様なスポーツ活動の促進

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
スポーツの振興	○競技スポーツ活動を支援するほか、スポーツ賞、スポーツ奨励賞の実施や市民へのスポーツ観戦機会の提供により、スポーツ振興を進める	○競技大会への選手派遣に係る経費の補助、スポーツ賞等による団体、個人への表彰、合宿・プロスポーツ等の誘致
スポーツ団体の支援・指導者人材の育成	○安全確保に関する研修の実施などを通して指導者の資質向上に取り組み、少年団へ安心して加入できる環境づくりに取り組む	○スポーツ少年団本部への支援、スポーツ少年団指導者育成の支援
スケート競技の振興	○競技者人口の拡大や競技力の向上に取り組むほか、各種大会等の開催を支援する	○全国高等学校選抜スピードスケート競技会をはじめ各種大会等の開催支援 ○「ほっとドリームプロジェクト」実施。明治北海道十勝オーバルの十勝管内小学校への授業開放の実施

㉒　スポーツによる活力のあるまちづくり

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
地域スポーツの振興	○より多くの市民がスポーツに親しみ、楽しむことのできる機会づくりに取り組む ○市民へのスポーツ活動の場を提供するため、利用しやすい環境づくりと情報発信に取り組む	○各種スポーツ教室、スポーツフェスティバルの開催 ○学校体育館のスポーツ開放事業の実施
スポーツ大会合宿等誘致	○スポーツ合宿の誘致については、各競技団体と連携を図り、支援体制等ニーズを把握しながら受入体制の整備を進める	○大会開催支援、プロスポーツチーム等の合宿受け入れ、フードバレーとかちマラソンの開催

㉓　スポーツ施設の整備・管理運営

主な取り組み	令和５年度の課題及び今後の方向性	課題に対する令和６年度の取り組み
計画的な施設整備の実施	○「公共施設マネジメント計画」に基づく施設の長寿命化や施設総量の適正化等を通し、必要とされる施設規模や機能維持に長期的な視点で取り組む	○帯広の森市民プール可動床装置部品交換修繕、帯広の森運動施設変圧器・コンデンサ交換修繕、アイスアリーナ・スポーツセンターアイスホッケーライン・ポイント修繕、帯広の森体育館テニスコート用センター金具修繕、帯広の森運動施設高圧ケーブル等交換工事、帯広の森市民プールプールサイド床改修工事（３期）、帯広の森体育館駐車場外灯改修工事
適切な管理運営の推進	○多様化していく利用者ニーズに効果的・効率的に対応するため、民間の活力を生かした管理運営及び地域住民や団体の協力による管理運営に取り組む	○スポーツ施設における指定管理者制度及び PFI の事業方式による管理運営の実施、パークゴルフ場における市民協働による管理運営の実施